

魔人と失われた王国　むかしむかしの物語

作画／うず　原作／バンダイナムコゲームス

C305-1

電撃コミックス

ISBN978-4-04-870867-8
C9979 ¥570E

9784048708678

1929979005702

ASCII MEDIA WORKS

発行●アスキー・メディアワークス

定価：本体570円　※消費税が別に加算されます

雑誌 49063-81

失われた王国を旅する
ファンタジーアクションが
コミックで登場！

栄華を極めた王国が、
一夜にして歴史から消え失せた…。
ゲームで綴られる物語の
はるか昔に何が起こったのか？
その謎がコミックで解き明かされる。

物語。悲しい優しくて魔人と少女の



＊ラトゥミカイク＊
ファレ・アトゥアの王女。
動物と話をすることができる。



＊ユルルングル＊
いつもハラペコで
マイペースな王国の守護神。

『魔人と失われた

《PS3》





うず

Uzu



URL：http://uz3.net/

twitter：http://twitter.com/uzumuzu

蠍座のA型。

ゲーム中のユルルングルが

愛らしすぎて悶えました。

おなかはぷるんとしているんでしょうか。

助走をつけて飛びつきたいです。


魔人と失われた王国
むかしむかしの物語
作画／うず　原作／バンダイナムコゲームス


魔人と失われた王国
むかしむかしの物語

魔人と失われた王国
〜むかしむかしの物語〜

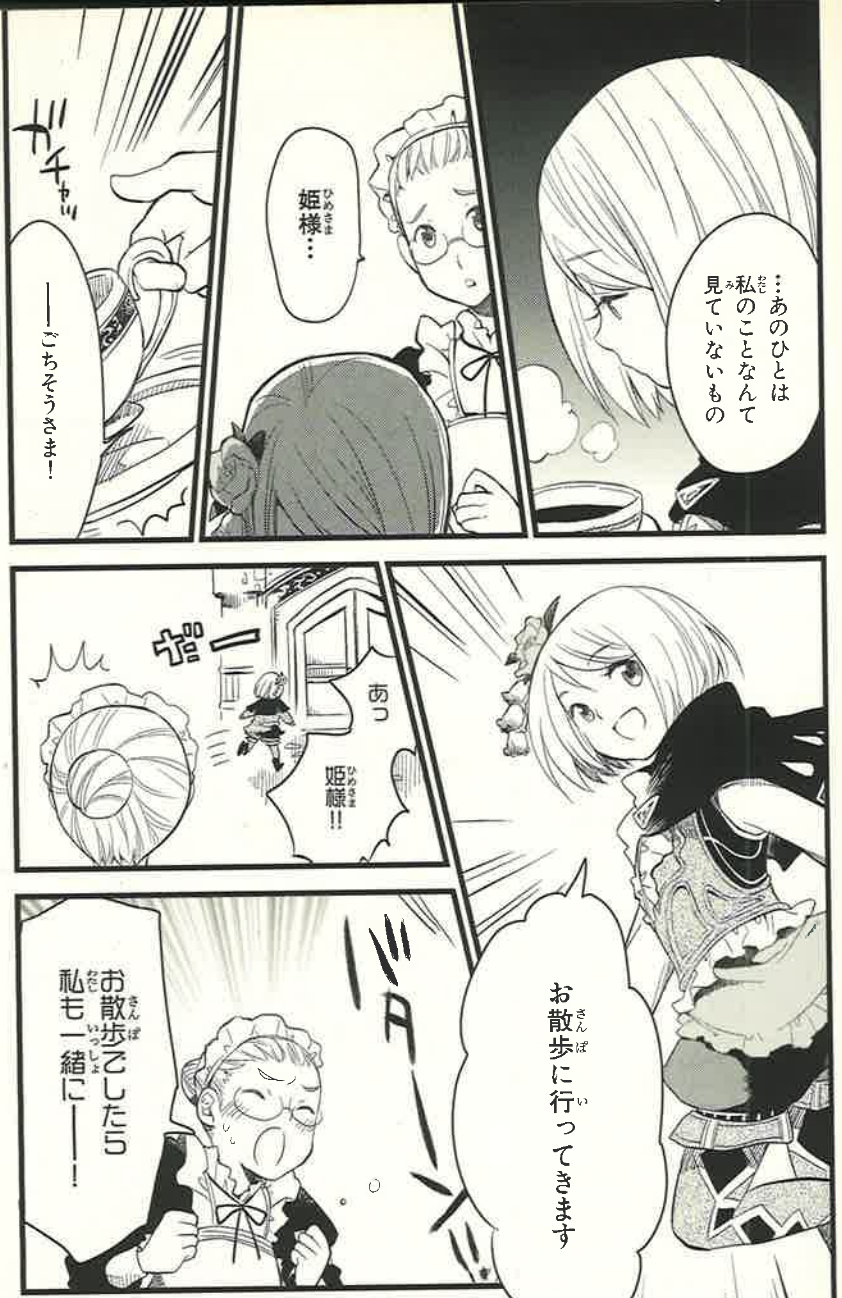
-CONTENTS-







つかれちゃった
もう 姫様ったら！
お勉強もまじめになさってください
ちゃんとしてるわ
王族として学ぶべきことはたくさんあります
それにきっと頑張れば
王妃様もお目をかけてくださいますよ
カチャ



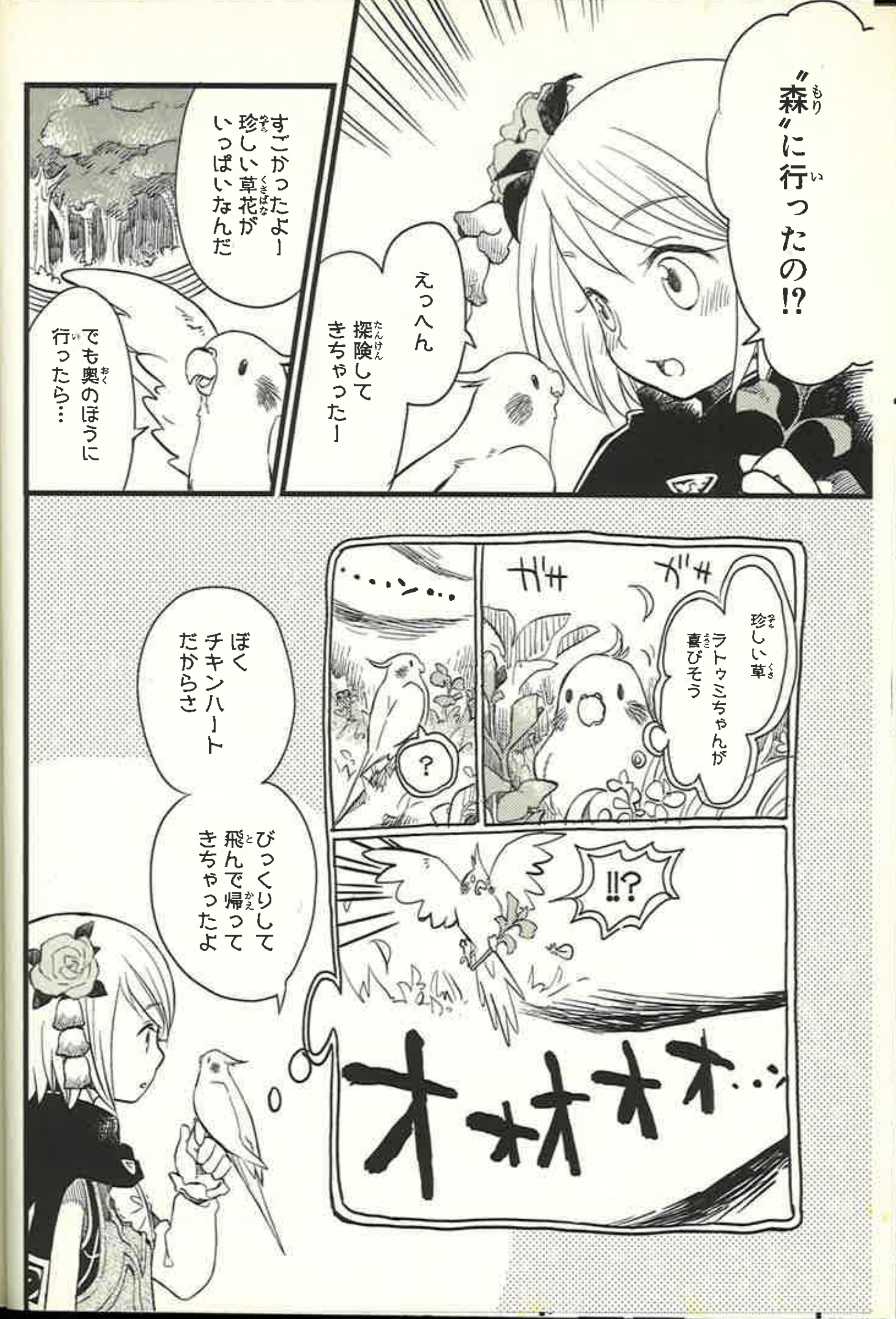
…あのひとは私のことなんて見ていないもの
姫様…
ガチャッ
──ごちそうさま！
お散歩に行ってきます
ダーッ
あっ 姫様!!
お散歩でしたら私も一緒に──!


ふう
お散歩くらい ひとりでさせて ほしいわ
いつもついてこようと するんだから
おや これはこれは
ラトゥミカイク様では ございませぬか
…カナロア宰相
ごきげんよう
ご機嫌麗しゅう 存じ上げます
お出かけに なられるのですかな?
ええ あなたは?

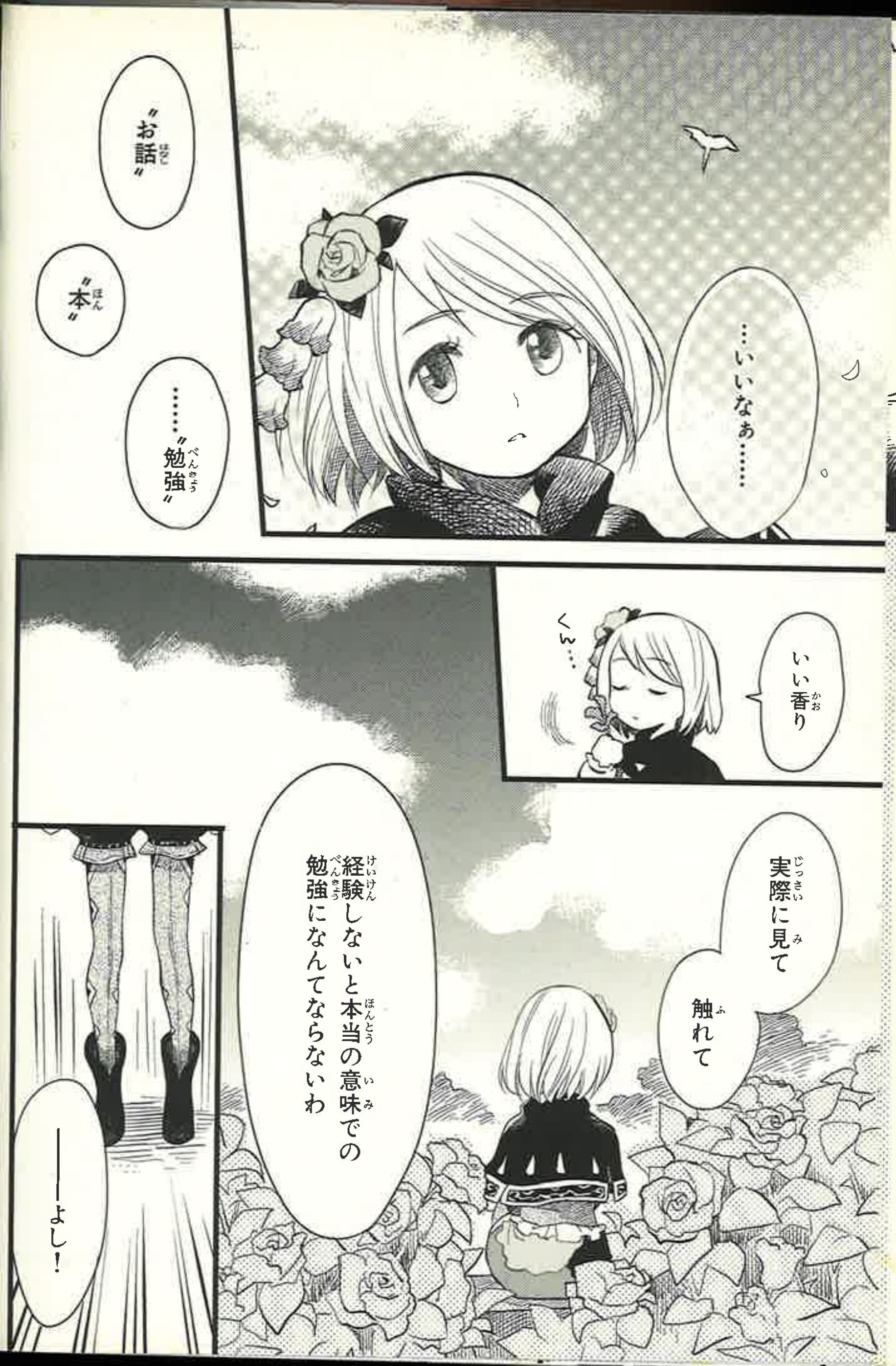

わたくしは 研究所のほうへ
…また“機械”の 研究ですか
もちろんです
機械の話をすると 姫はいつも渋い顔を なされる
工業の機械化による 文明の発展
すなわちこの ファレ・アトゥアの 発展でもあるのですぞ
…わかっています
ならば何を憂うことが あるのでしょう
……
確かに利便性の向上や 文明力の強化は計り知れない ものがあるでしょう


けれどその代わりに…取り戻せないものを失ってしまう
では…
そんな気がするだけです
…………
フン…
ご苦労さま
あっ！ ひ！ 姫!!
本日も異常ありまつぇん!!
噛んだ…!
お話ししてしまった…


ん～～～～っ！
いいお天気！
ラトゥミちゃーん
バサッ
チュルル
今日は遅いから心配したよー
ごめんなさい
…それは？
おみやげだよ！変わった草でしょ
これ…ナズナコベだわ
本でしか見たことない……
はっ
──まさか

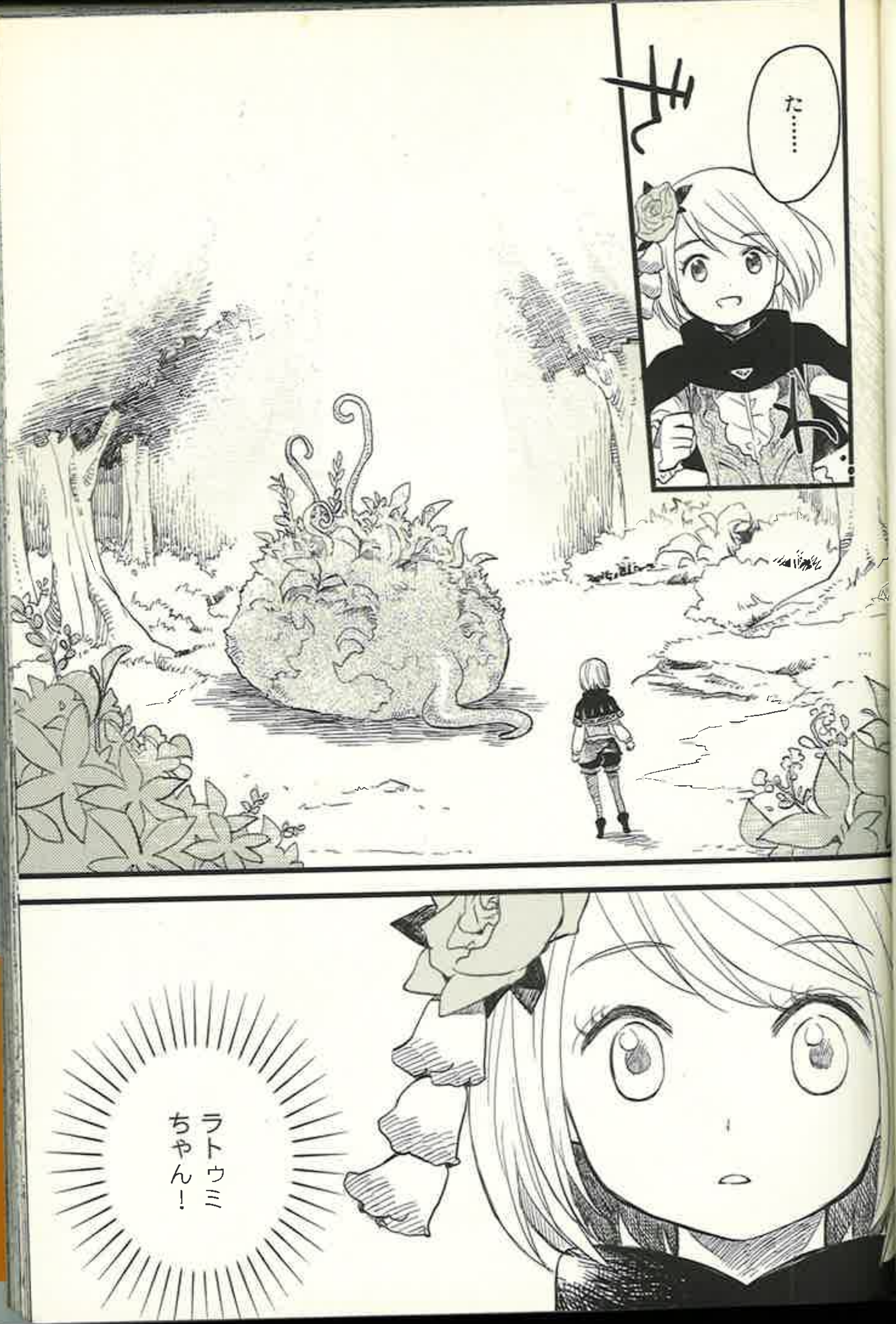

"森"に行ったの!?
えっへん 探険してきちゃったー
すごかったよー 珍しい草花がいっぱいなんだ
でも奥のほうに行ったら…
ガサ
ガサ
珍しい草 ラトゥミちゃんが 喜びそう
…ッ…
?
!!?
ぼく チキンハート だからさ
びっくりして 飛んで帰って きちゃったよ
オォオオオ…ッ


だめじゃない そんな危ない…
あの森は危険だって 知ってるでしょう
わかってるよ
けど ラトゥミちゃん だって気になる でしょ?
あそこには手つかずの 自然がいっぱい 残ってるんだ
それは……
ダメだよ 行っちゃ
ラトゥミちゃんは 空を飛べないんだから!
うず
うず
はっ
あのうなり声は 伝説のコワーイ魔物に ちがいないよ!
ギャー
ギャー
知りたいならぼくが お話ししてあげるから 絶対ぜったい 行っちゃダメだよ!


…いいなぁ……
〝お話〟
〝本〟
……〝勉強〟
くん…
いい香り
実際に見て
触れて
経験しないと本当の意味での勉強になんてならないわ
――よし！


奥のほうに行かなきゃ大丈夫でしょ
ギッ
ギッ
特に珍しい植物は見あたらないなぁ…
もう少し奥に…
ギ
ギギギッ
あ!!


ヨイマチダケ！
すごい本物だ
……あ！
ウラジロアオイ
こっちはナナイロイカリ
あれは…
ヒメツリバナ！
すごい！
すごい！
こんなに珍しい草木がたくさんあるだなんて
もっと早く来ればよかっ……


た……
ラトウミちゃん！


ラトゥミちゃんは飛べないんだから
絶対に行っちゃダメだよ!
ピクッ
ムゥ…
あのうなり声は
コワーイ魔物にちがいないよ!

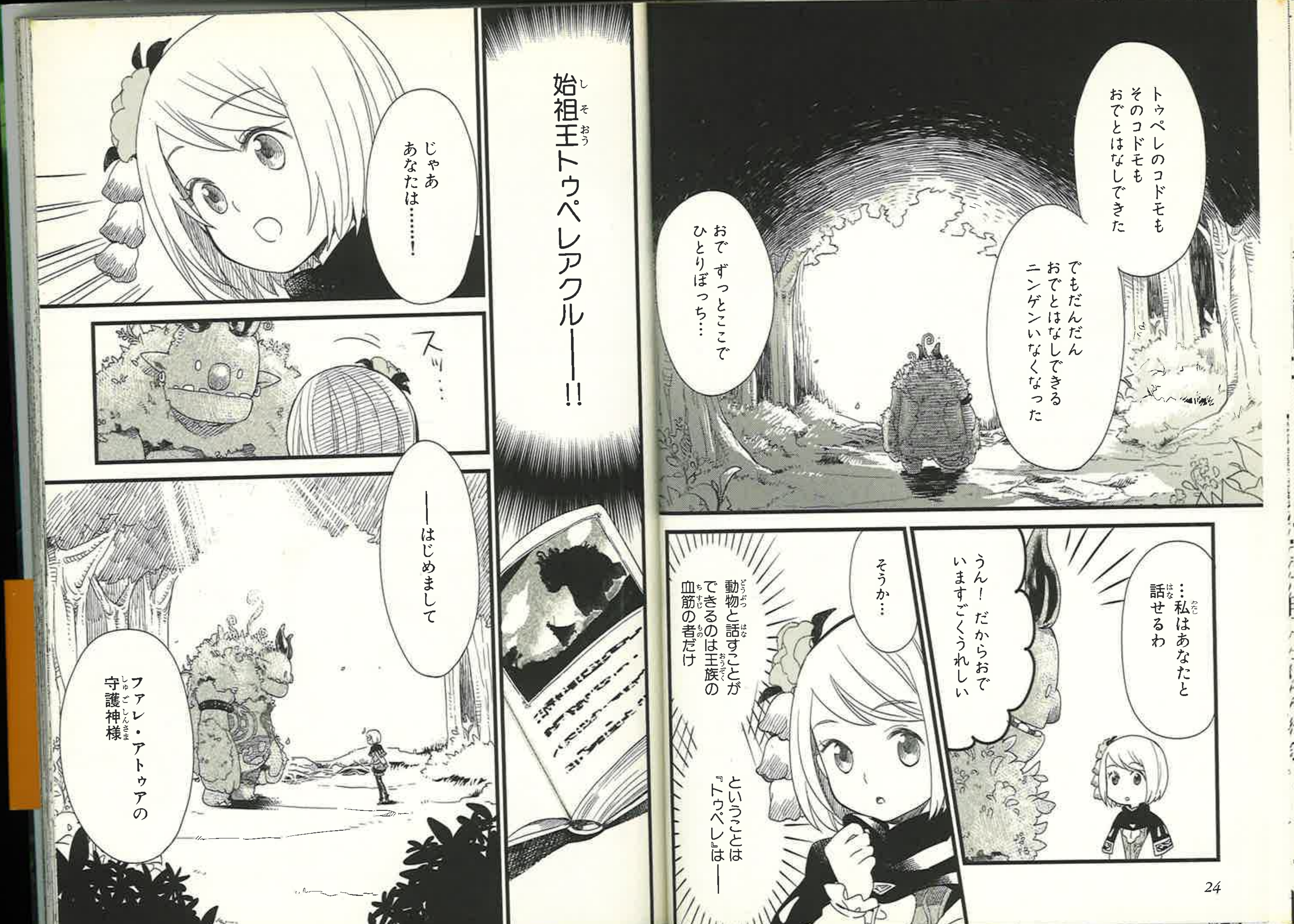

………
タッ!
ドキッ
……まって
おで　こわくない
にげないで……


え……？

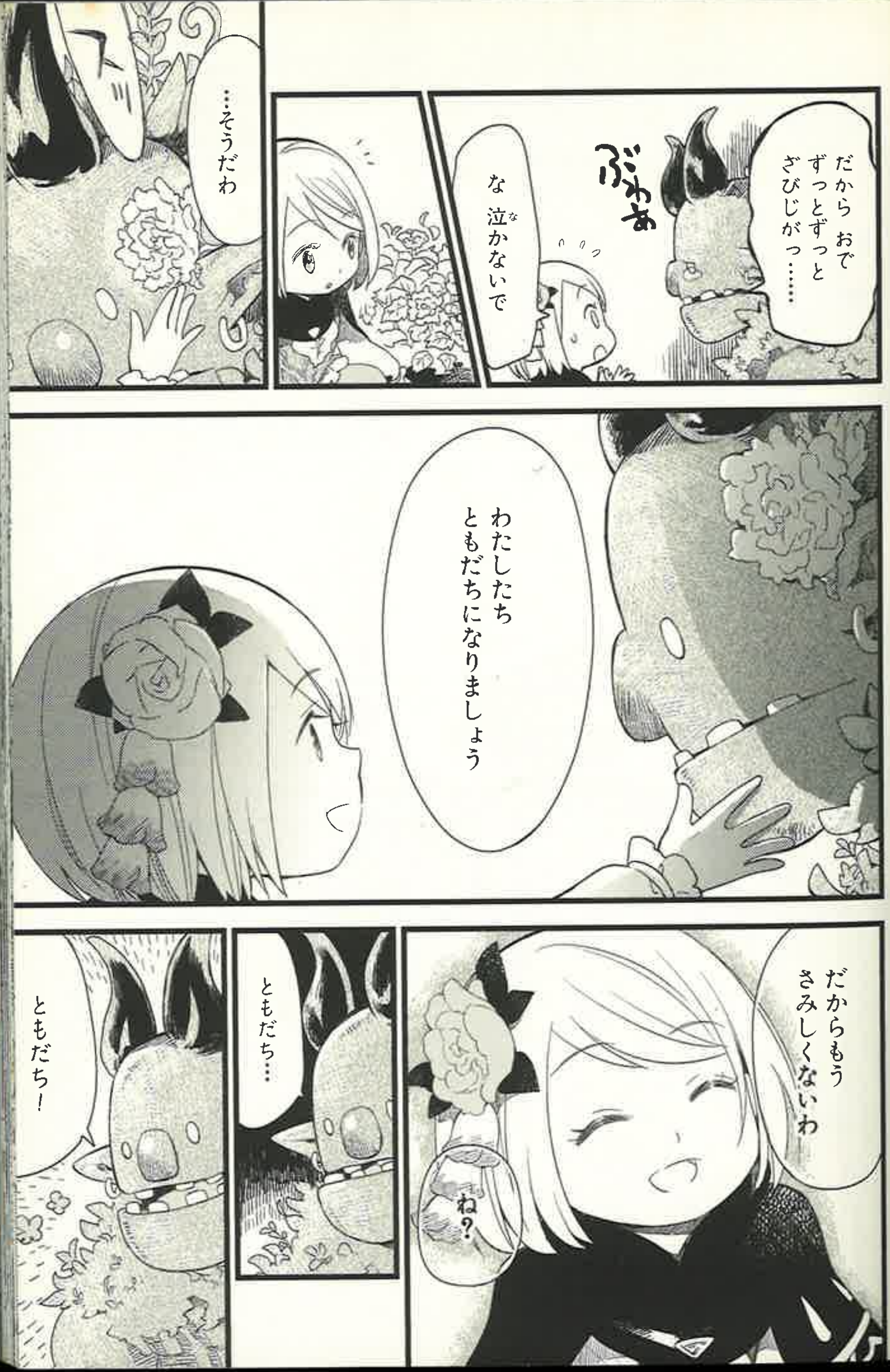

第2話
ともだち
こわくない……？
うん

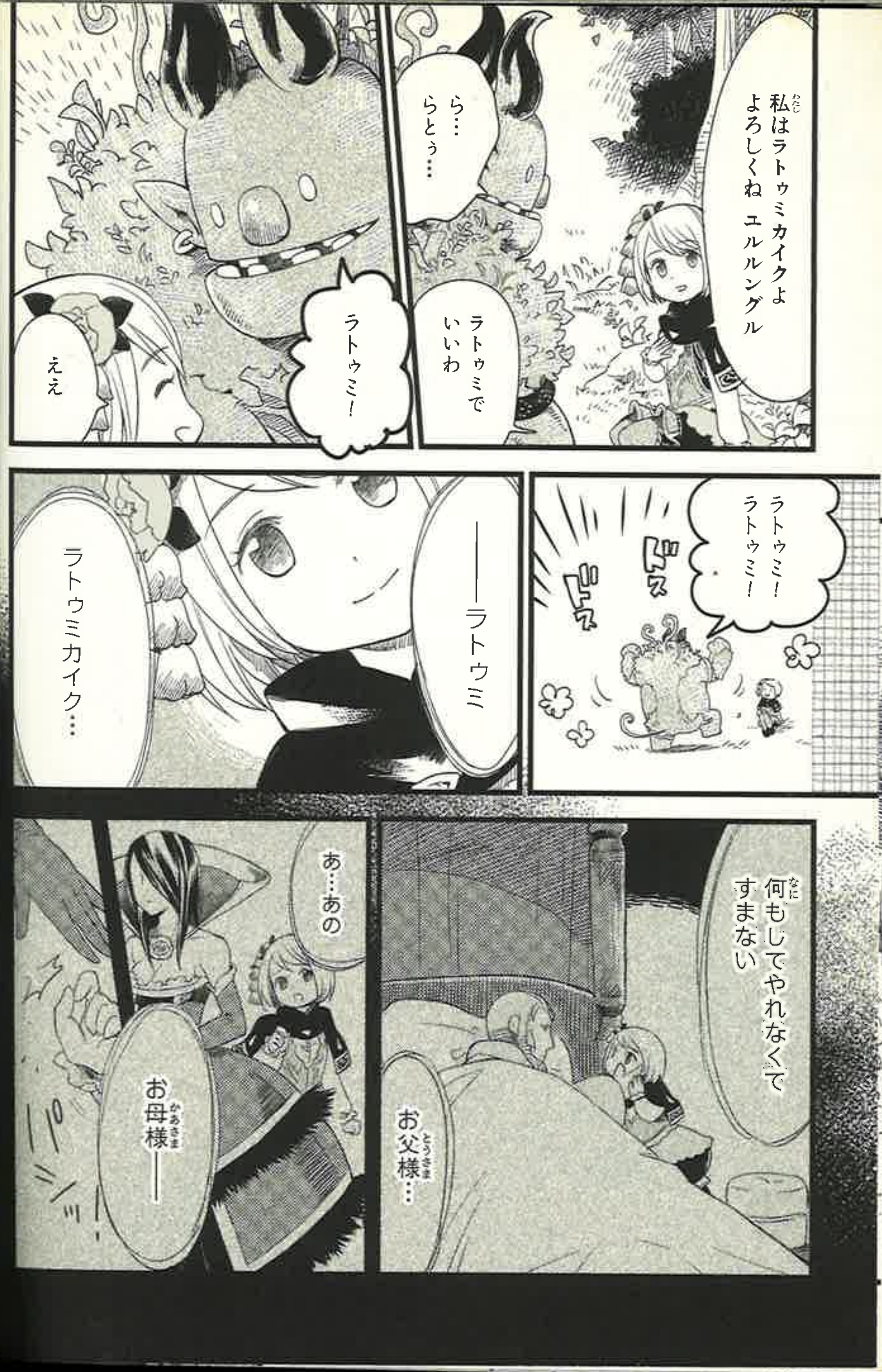

…そんなこと言われてもこわいわ…
おおきいし…
ガーン
…グスン
えっ
ガーン
ごめんなさい ごめんなさい
ごそごそ
びっくり?
ええ
びっくりしただけ
よかった
もぐもぐ
ちがう!


あの…あなたは何者なの?
こんな森の奥で何を?
おで… ユルルングル
トゥペレのともだち
『トゥペレ』……?
…トゥペレ いなくなった
ちょっとまえ ずっとまえ


トゥペレのコドモも そのコドモも おでとはなしできた
でもだんだん おでとはなしできる ニンゲンいなくなった
おで ずっとここで ひとりぼっち…
…私はあなたと話せるわ
うん！ だからおで いますごくうれしい
そうか…
動物と話すことができるのは王族の血筋の者だけ
ということは『トゥペレ』は——
始祖王トゥペレアクル——!!
じゃあ あなたは……!
スッ…
——はじめまして
ファレ・アトゥアの守護神様

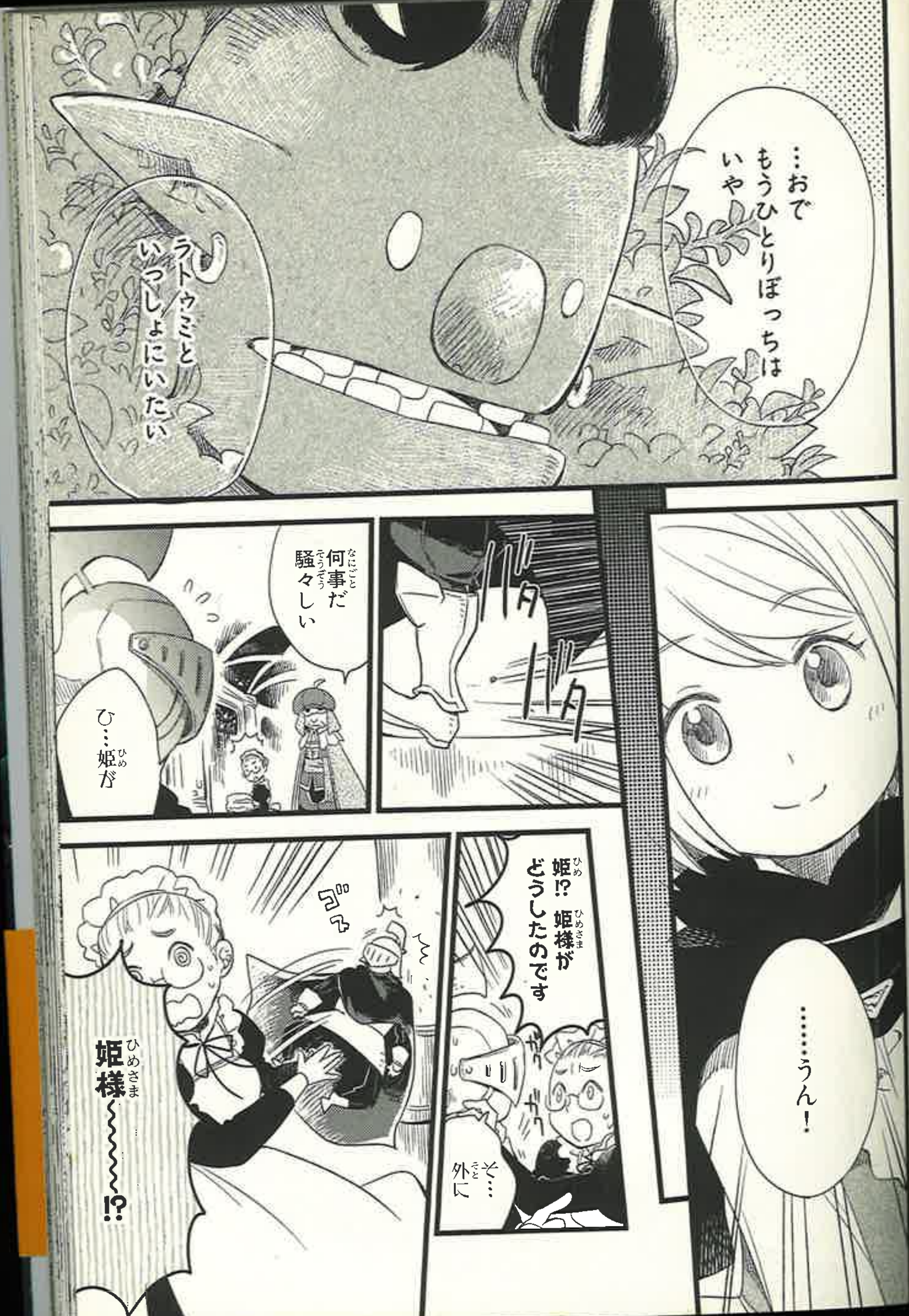

しゅごしん……
それ ウマイ?
……
――けれど
守護神たる魔人の あなたが どうして こんなところに?
おで ここから でられない
ひどいこと される
ちっちゃなおとこ おおきなぼうし
おでをとじこめて しらべる
おおきな 帽子…
カナロア宰相…?

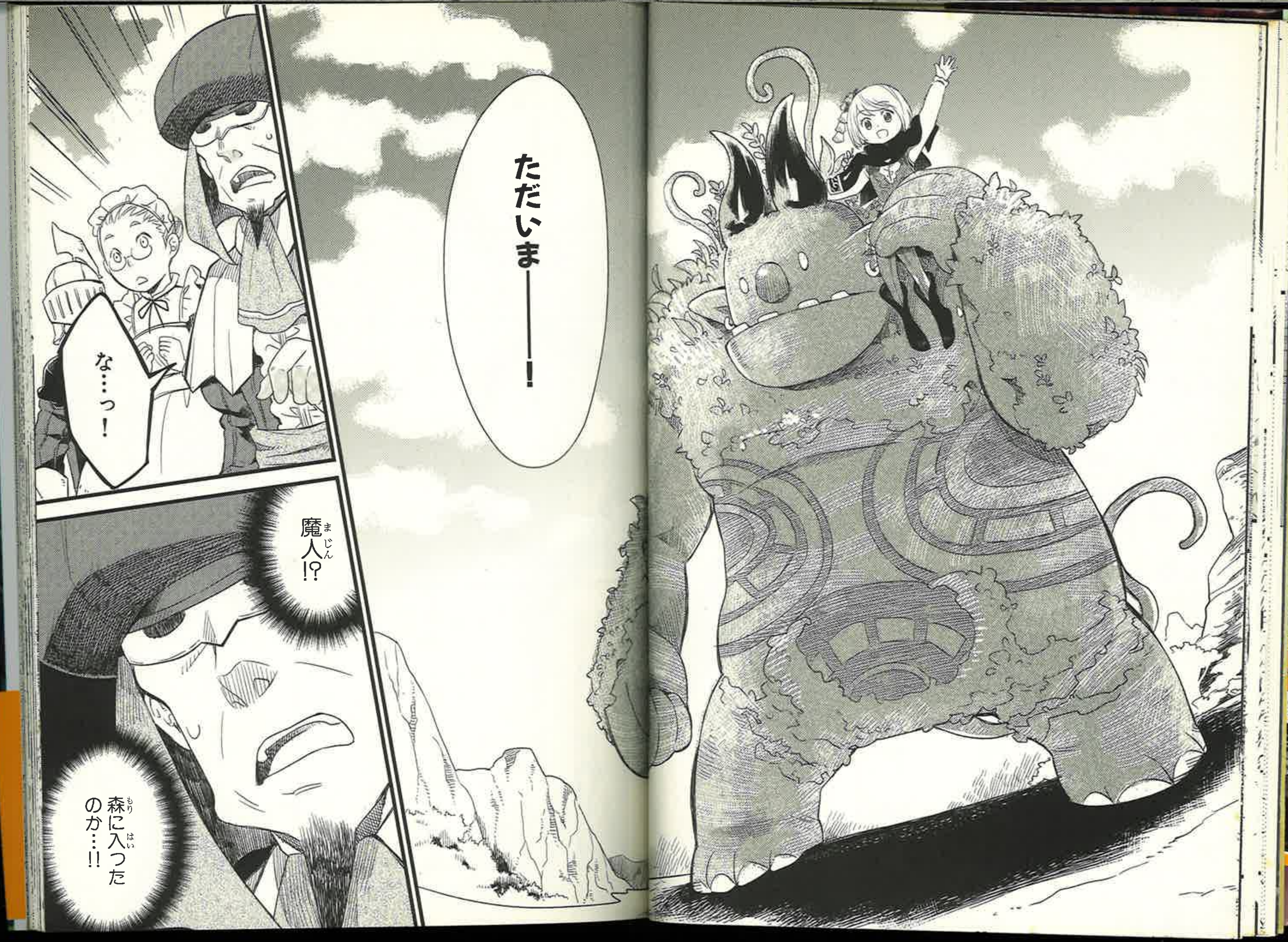

だから おで ずっとずっと ざびじがっ……
ぶわあ
な 泣かないで
…そうだわ
わたしたち ともだちになりましょう
だからもう さみしくないわ
ね?
ともだち…
ともだち!

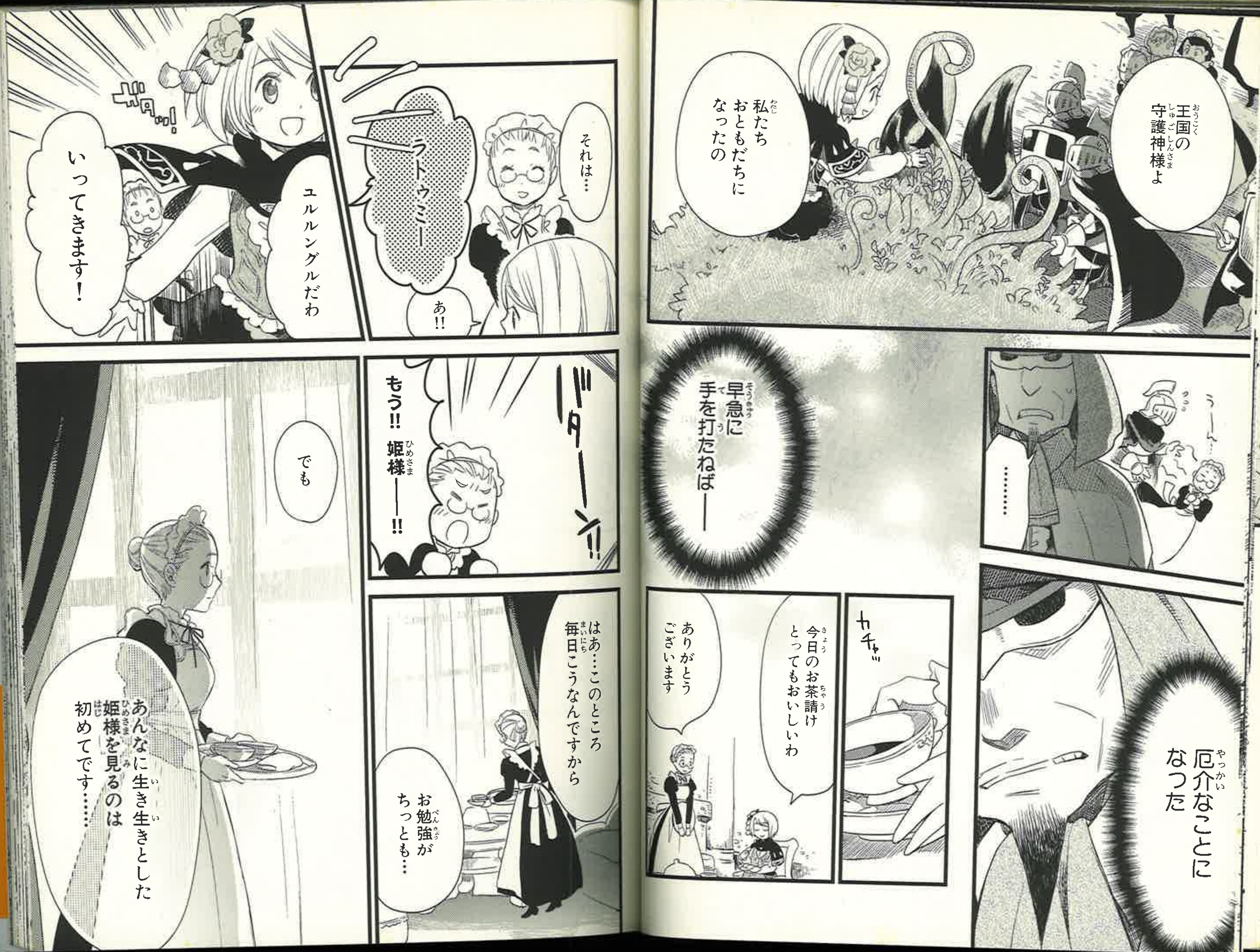

私はラトゥミカイクよ よろしくね ユルルングル
ら… らとぅ…
ラトゥミで いいわ
ラトゥミ!
ええ
ラトゥミ! ラトゥミ!
ドス ドス
――ラトゥミ
ラトゥミカイク…
何もしてやれなくて すまない
お父様…
あ…あの
お母様――


『姫』
『姫様』
『王女』
――『ラトゥミ』!
はっ
どうした? はらへった?
……名前を……
名前を呼んで もらえるって
うれしいね ユルルングル

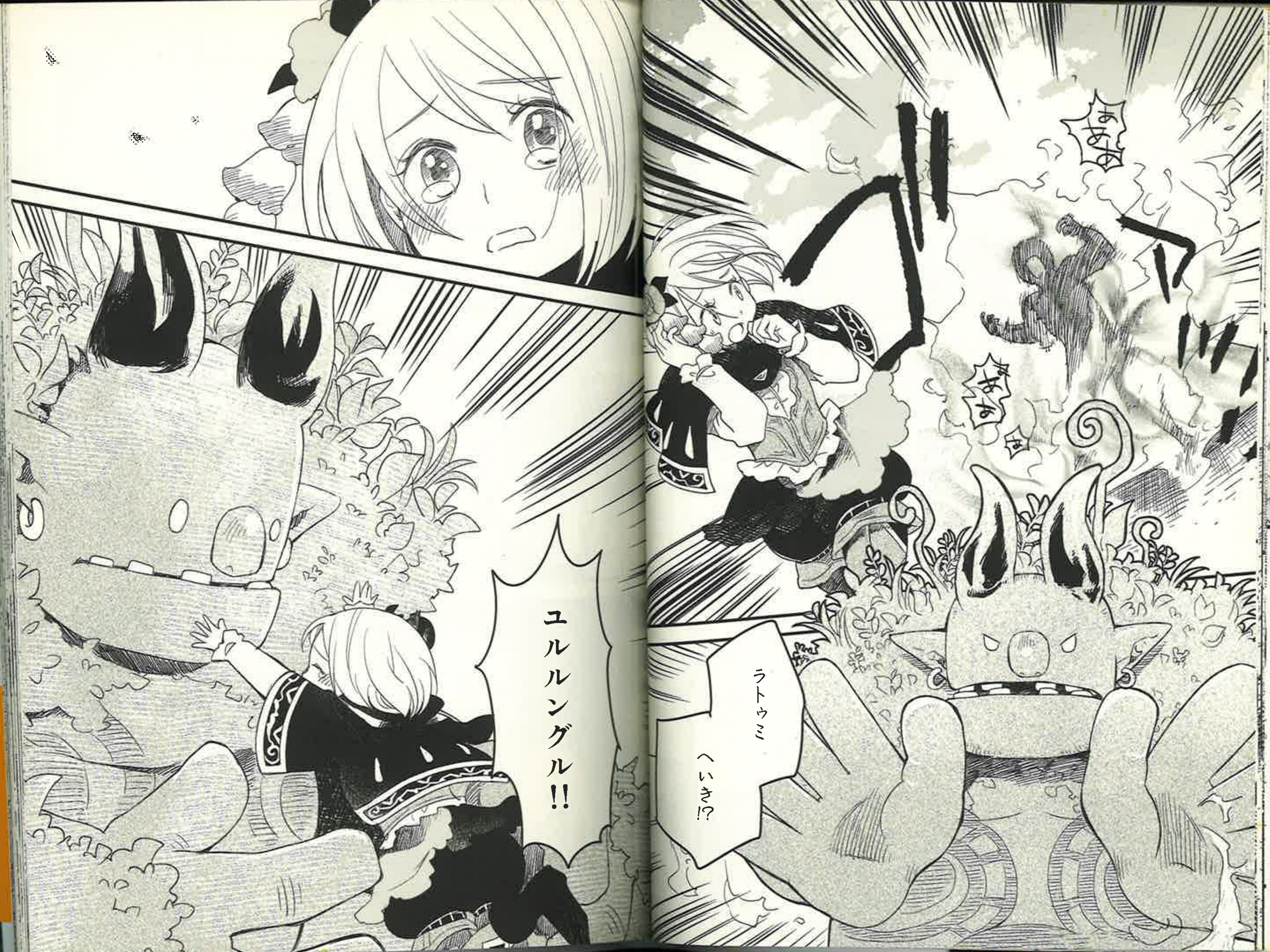

うん！
おでも うれしい！
…それにしても
こんな森の奥にずっと閉じ込めておくだなんて…
「機械の研究を」
何か関係が？ それとも他に思惑でも…？
ユルルングル
あなたはこれからどうしたい？


…おで もうひとりぼっちは いや
ラトゥミと いっしょにいたい
……うん！
バタ
バタ
何事だ 騒々しい
ひ…姫が
姫!? 姫様が どうしたのです
ゴッ
そ…外に
姫様〜〜〜〜!?


ただいまーー!
な…っ!
魔人!?
森に入ったのか…!!


王国の守護神様よ
私たち おともだちに なったの
うーん…
………
早急に手を打たねば――
厄介なことになった
カチャ
今日のお茶請け とってもおいしいわ
ありがとう ございます
それは…
ラトウミー
あ!!
ユルルングルだわ
ガタッ!
いってきます!
バターン!!
もう!! 姫様――!!
はあ…このところ 毎日こうなんですから
お勉強が ちっとも…
でも
あんなに生き生きとした 姫様を見るのは 初めてです……


今日はなんのお話をしようかな
……
フッ
!?
ガッ
悪く思うなよ
せめて ひと思いに殺してやる
ぐわっ!?
ガッ
たたっ
ユルルングル…
はぁ はぁ
助けて
ユルルングルー!!
第3話
予兆

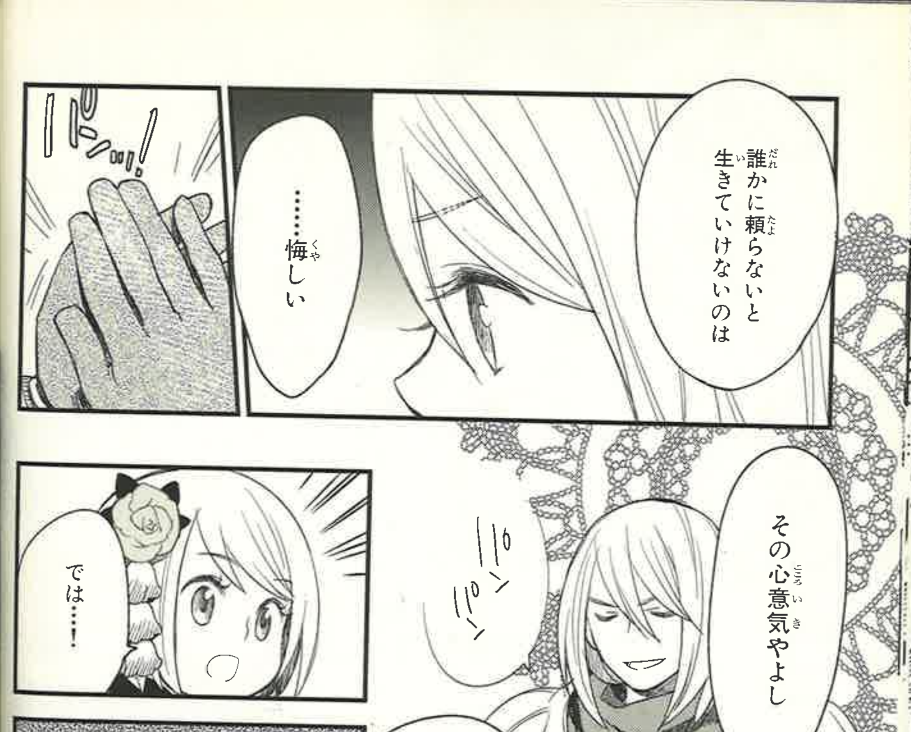

ゴアッ!!
あああ
ぁああ
ぁ
ラトゥミ へいき!?
ユルルングル!!


サワ
サワ
ラトゥミ
おちついた?
うん…
私…殺されそうになったんだね
どうして?
ラトゥミなにも
わるいこと してない
どうして?
誰が?
わからない
…怖い……


だいじょうぶ!
ラトゥミ
おでがまもる!
キリッ
ありがとう
おで
つよい
ドス
ドス
ラトゥミ
まもる
ドス
ドス
——剣を?


また
ご冗談を
冗談では
ありません
王国一の剣術士　バマパナ
私に剣術を
教えてほしいのです
お願いします
バマパナ
王女であるあなたの務めは
勉学に励み侍女と静かに
暮らすこと
剣を扱うなど
言語道断です

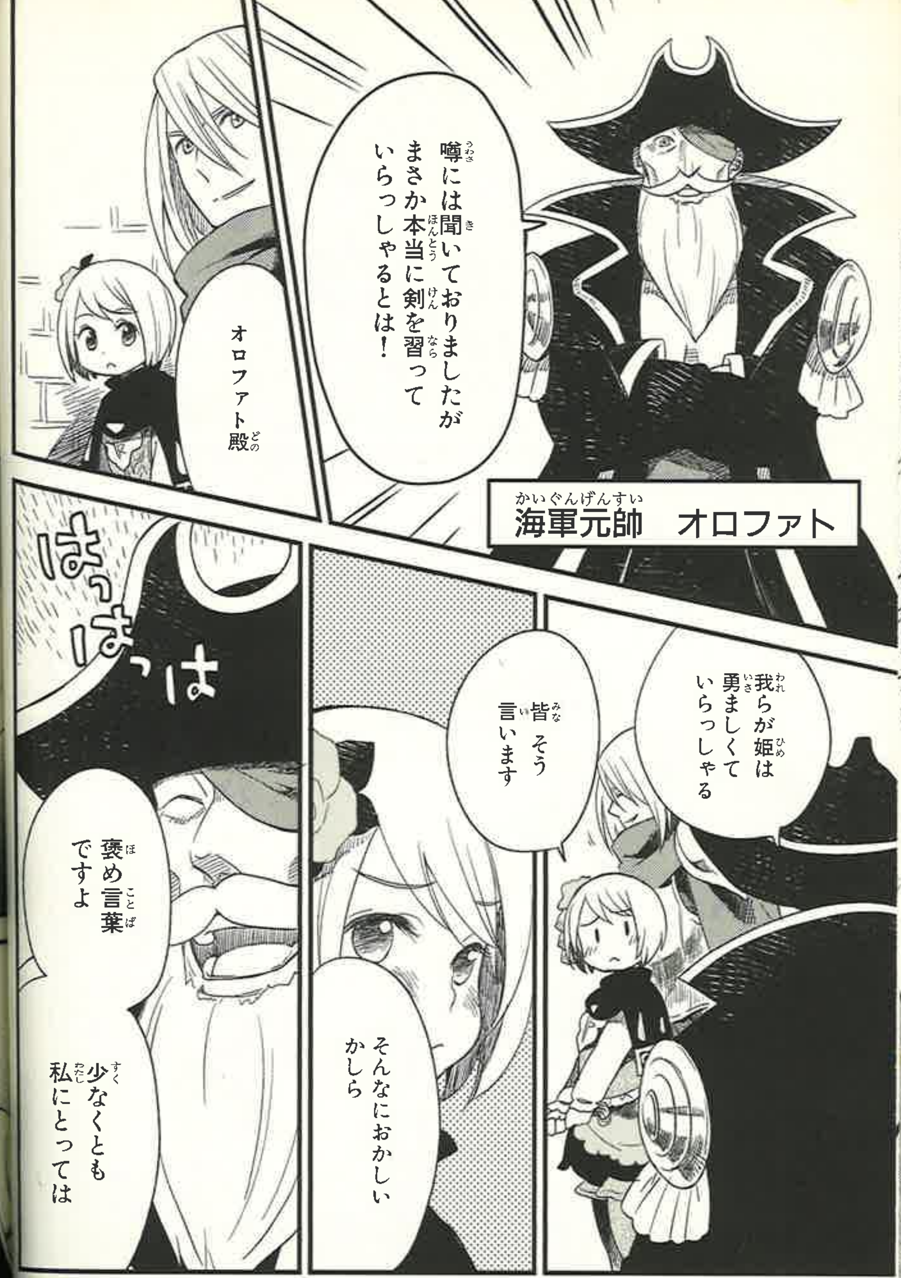

…先日 何者かに
襲われました
その時は
ユルルングルが助けて
くれました
でも……
自分の身すら
自分で守れない人間には
私はなりたくないのです


誰かに頼らないと生きていけないのは
……悔しい
その心意気やよし
では……!
どうやら私は姫を見くびっていたようです
少しお待ちいただけますか


これは…?
私が姫よりもう少し年長の頃使っていたものです
手入れはしておりますゆえ切れ味は鈍っておらぬはず
それは…大切な剣なのでは?


だからこそ姫に使っていただきたいのです
ぎゅっ
よろしくお願いします!
は-…
ヒュ


ラトゥミちゃんこのごろ剣の修行で忙しいみたいだね-
けんのしゅぎょう…
それウマイ?
…君 そればっかだね
でも おで さみしくない
チュルル いいやつ
ありがと 君もね
背筋を伸ばして
足は肩幅に
おお姫様!

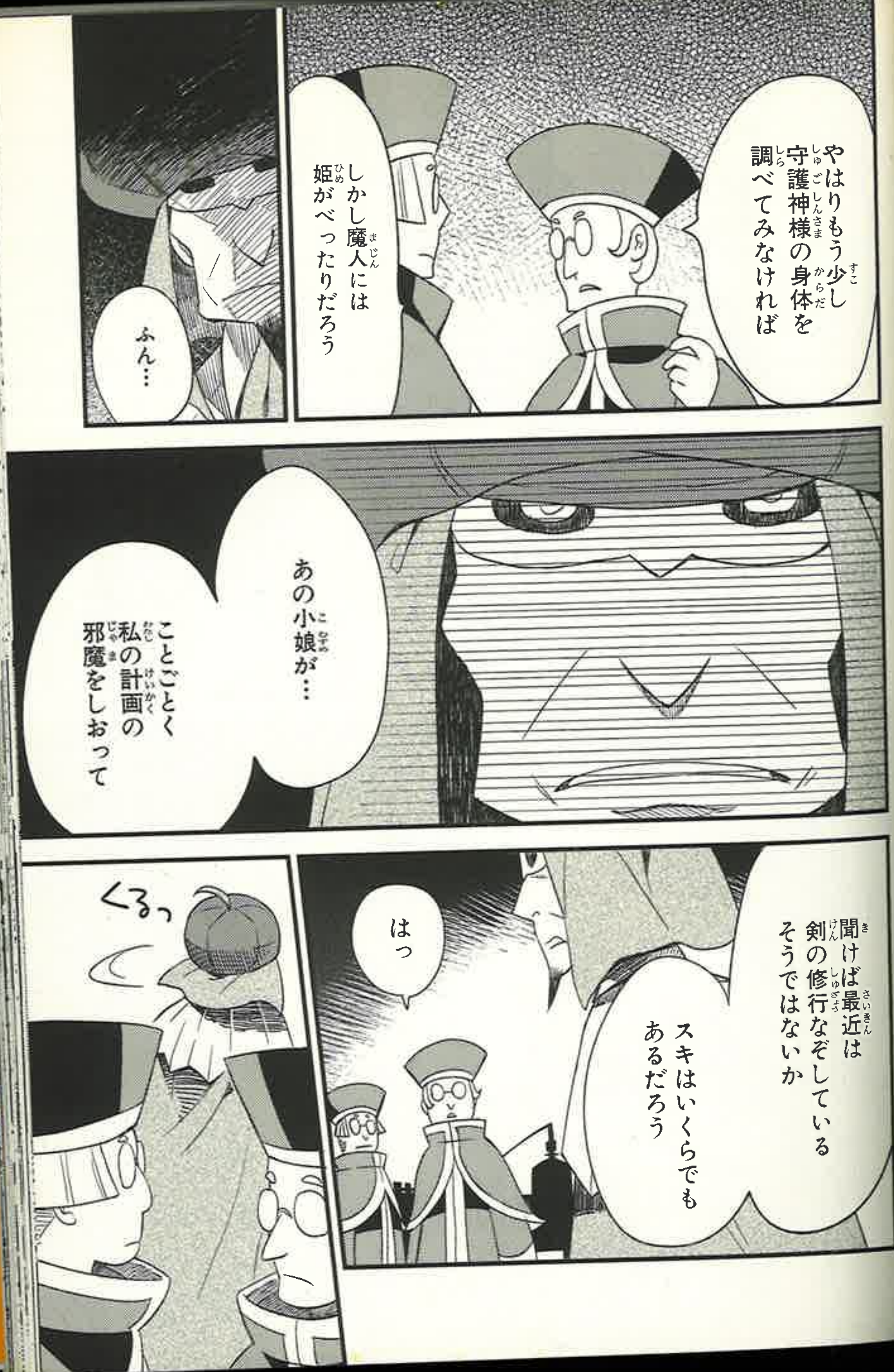


噂には聞いておりましたがまさか本当に剣を習っていらっしゃるとは！
オロファト殿
海軍元帥　オロファト
はっはっは
我らが姫は勇ましくていらっしゃる
皆そう言います
そんなにおかしいかしら
褒め言葉ですよ
少なくとも私にとっては

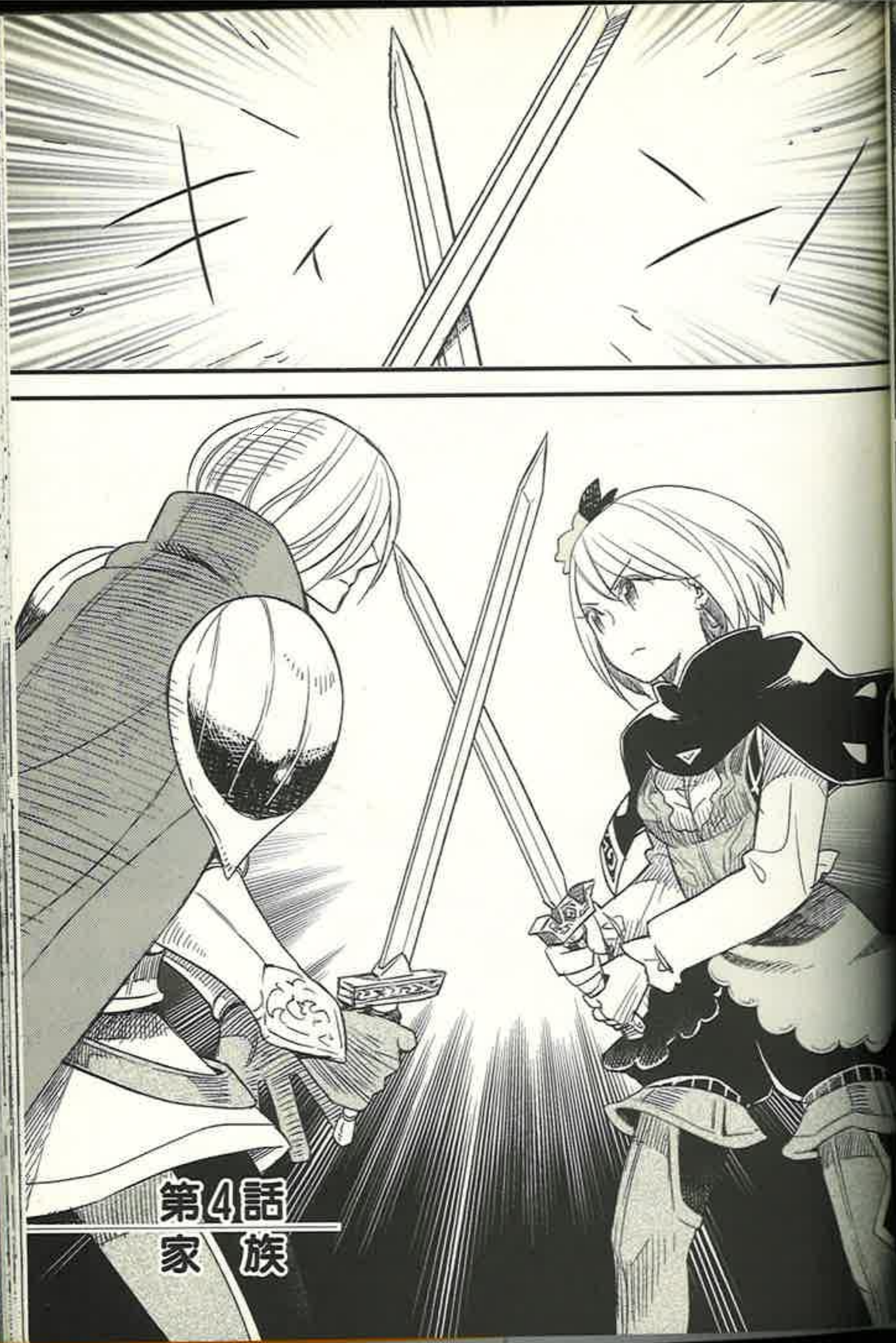


素直に受け取っておきます
がっはっはっ
しかし姫様
剣もいいですが海もまたよいものですぞ
空の青
海の藍
そして美しい私の——


船
ね
あははは…
どうだ
調子は
はあ
これといって…


やはりもう少し
守護神様の身体を
調べてみなければ
しかし魔人には
姫がべったりだろう
ふん…
あの小娘が…
ことごとく
私の計画の
邪魔をしおって
聞けば最近は
剣の修行なぞしている
そうではないか
スキはいくらでも
あるだろう
はっ
くるっ

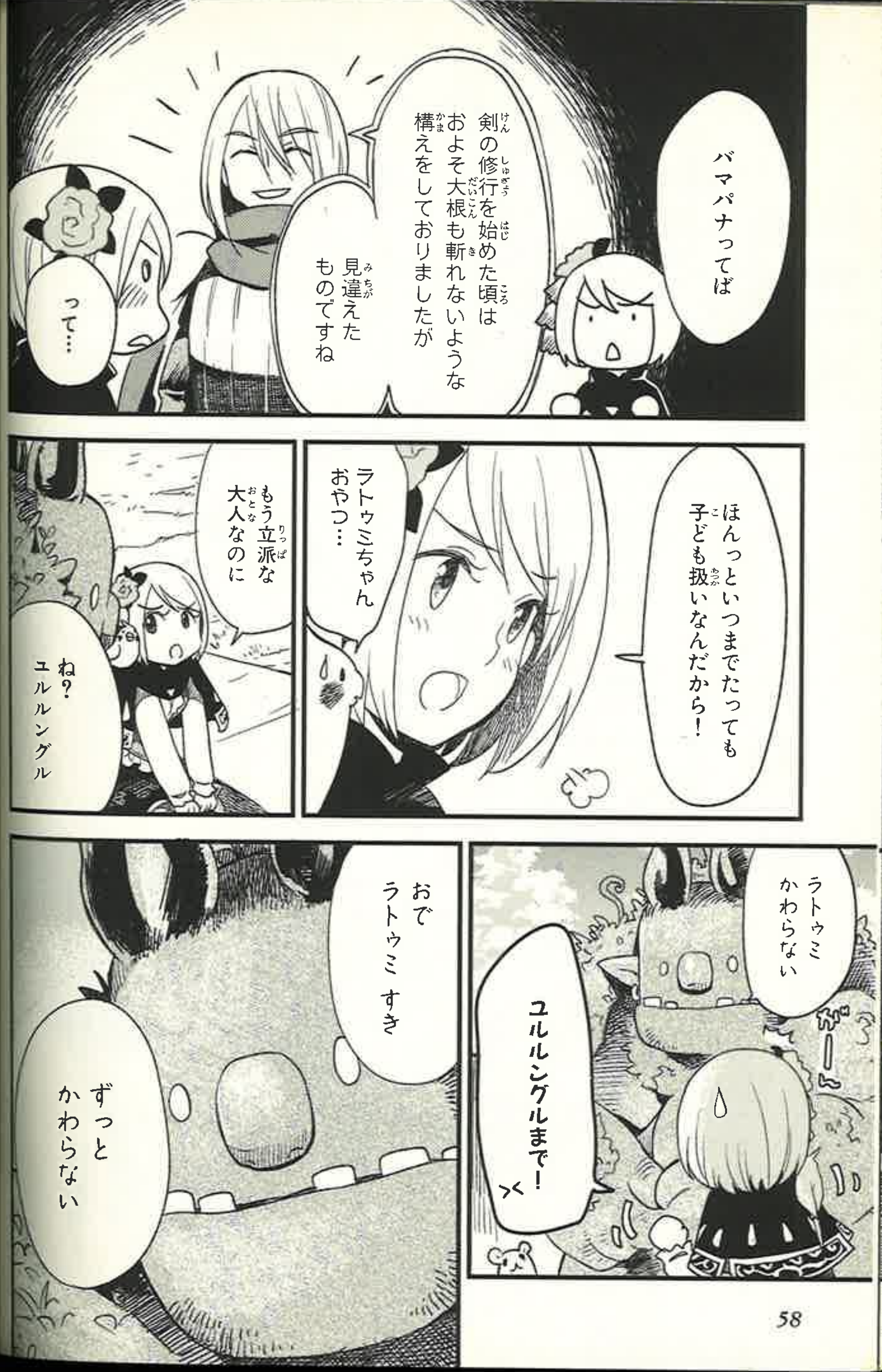

コッ
コッ
クッ……
ククククッ……！
もうすぐだ
もうすぐ……
ククク……

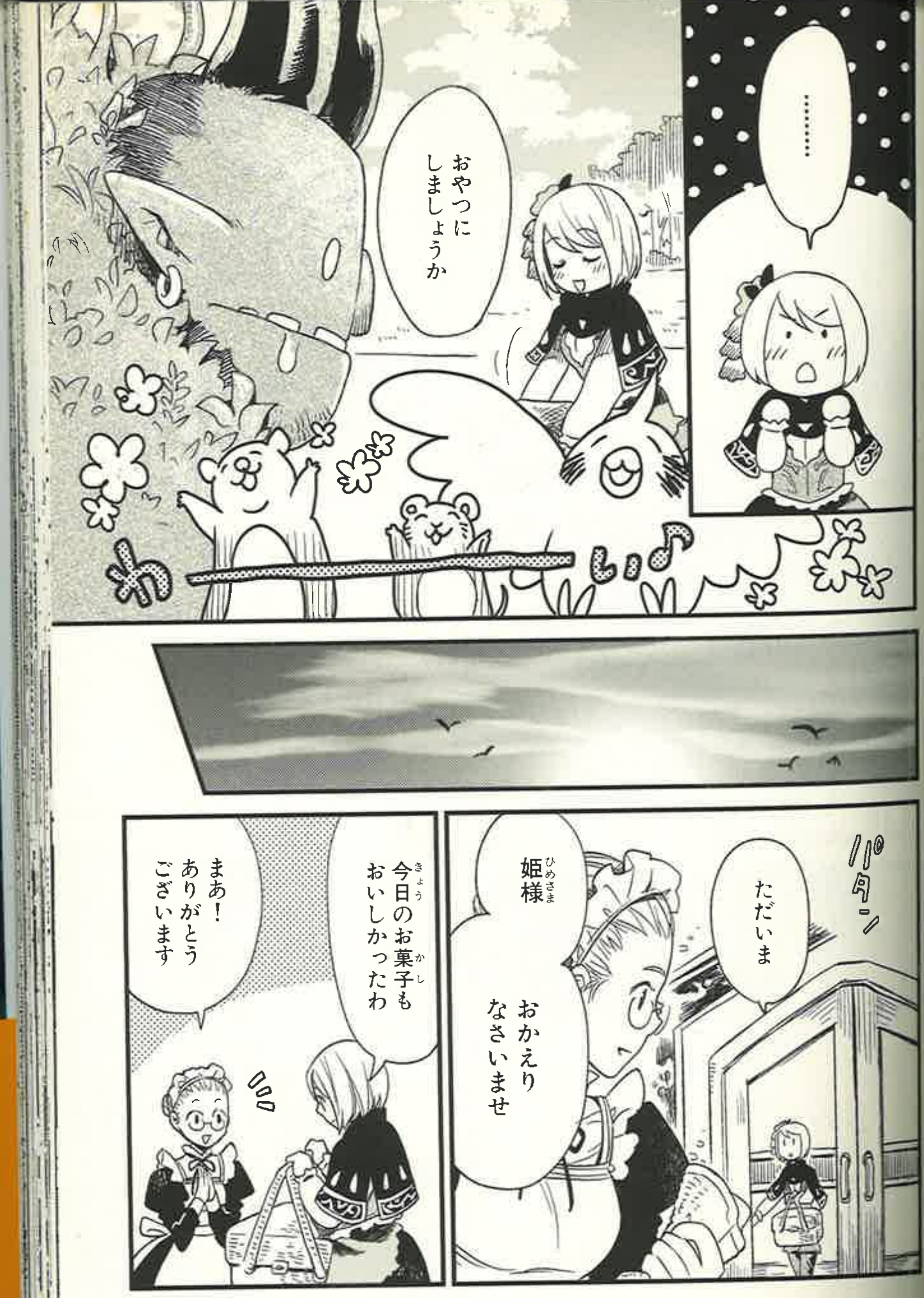

第4話
家族


タンッ
ダッ
キィン!
ほっほっ
やっとる
やっとる

オロファト
今日はこのくらいにしておきましょう
ええ
…しかしオロファト殿はよほどお暇とみえる
城におられる時は毎日のように姫様の修行の邪魔をしにいらっしゃる
邪魔とは人聞きの悪い
姫様の成長ぶりを目に焼きつけておきたいのだよ


なにせ私は姫が こーんなにお小さい頃から 見守っておりますからな
ハハッ…オロファト殿
それをおっしゃるなら 私なぞ
こーんな
頃から見守っておりますよ
ピキ…。。
ははは ならば私は こーーーんな頃から
いやいや私はもっと こーーーんな頃から
ーーでね
そんなことばっかり 言ってるから 逃げてきちゃった
2人とも昔の話ばっかりするのよ
ぐぅ
ラトゥミちゃん お話しの前に おやつ…
この前なんて ひどいの!
……


バマパナってば
剣の修行を始めた頃は
およそ大根も斬れないような
構えをしておりましたが
見違えた
ものですね
って…
ほんっといつまでたっても
子ども扱いなんだから！
ラトゥミちゃん
おやつ…
もう立派な
大人なのに
ね？
ユルルングル
ラトゥミ
かわらない
ユルルングルまで！
おで
ラトゥミ　すき
ずっと
かわらない

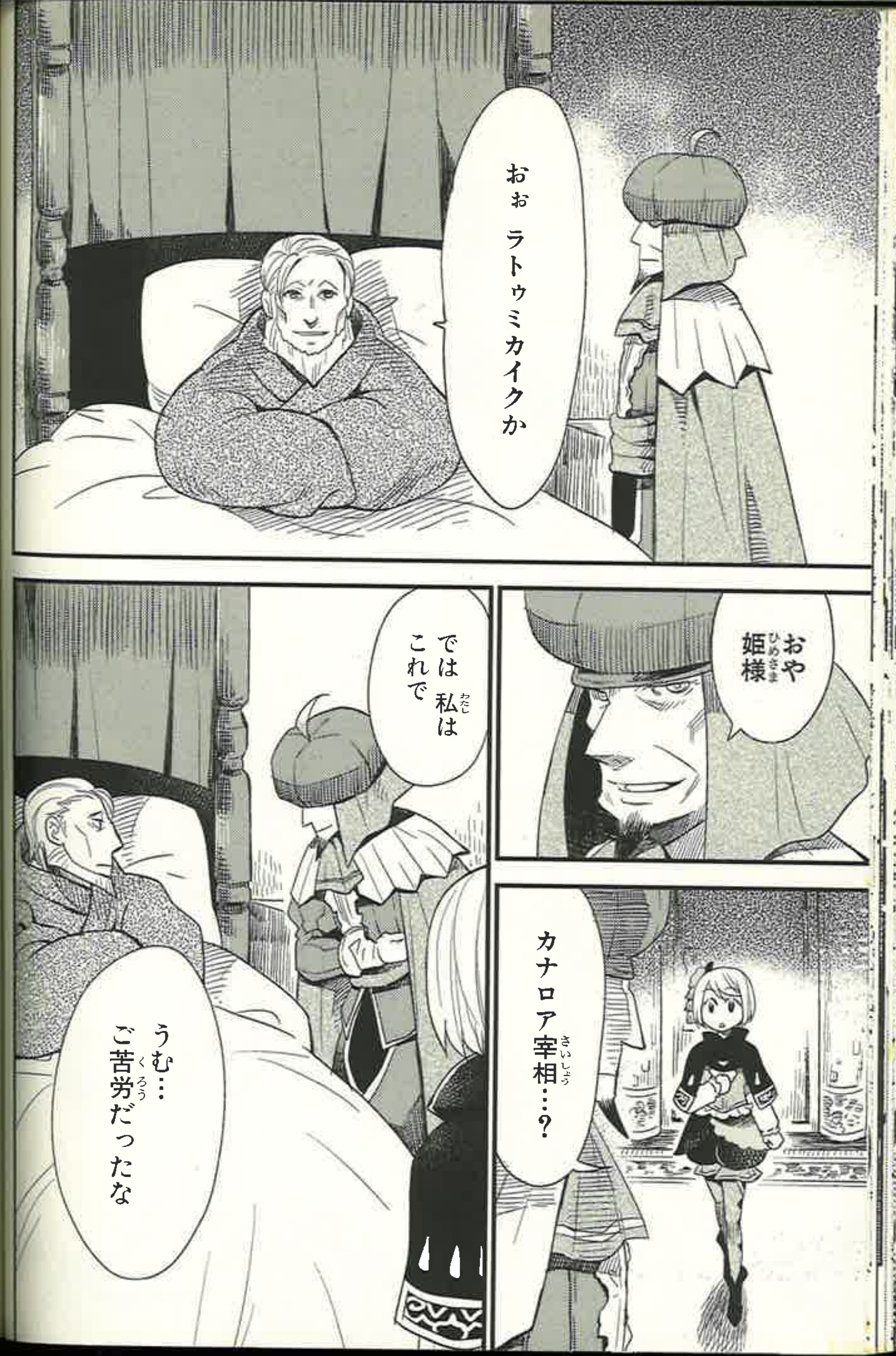

……
おやつに
しましょうか
わーい♪
パタン
ただいま
姫様
おかえり
なさいませ
今日のお菓子も
おいしかったわ
まあ！
ありがとう
ございます

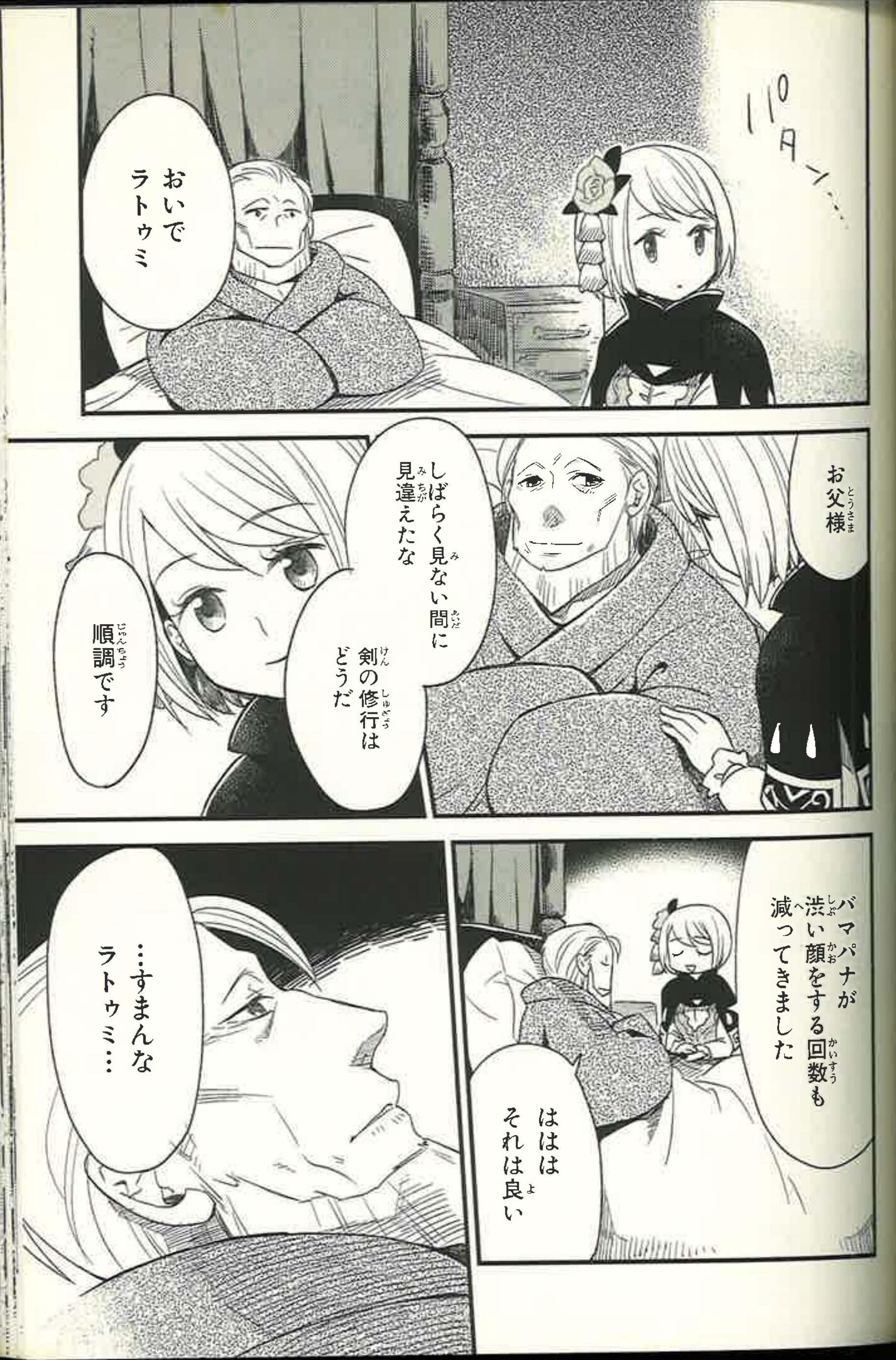


湯の支度も整っております
ありがとう
それと…今日は陛下のご体調がよろしいようですよ
会いに行かれてはいかがですか?
お父様が!?
お父様
何ケ月ぶりかしら
パタ
パタ
コツ
コツ
パタバタとはしたない
大きなペットを手に入れてご機嫌なようだけれど
もう少し立場をわきまえた振る舞いをなさい
……お母様
…ユルルングルはペットなんかじゃありません
大事なともだちです


パチン！
ふん…
どうでもいいわ
そんなこと
いつも私の心を満たしてくれるのは
この美しさを引き立てる宝石たちだけ……


コツ
コツ
コツ
コツ
お母様…
お父様
キィィ…
ラトゥミカイクです


おぉ ラトゥミカイクか
おや 姫様
では 私は これで
カナロア宰相…？
うむ… ご苦労だったな


パタン…
おいで ラトゥミ
お父様
しばらく見ない間に 見違えたな
剣の修行は どうだ
順調です
バマパナが 渋い顔をする回数も 減ってきました
ははは それは良い
…すまんな ラトゥミ…


私もこんな身体でさえなければ
剣をたしなみ
おまえに教えることも
できただろうに
お父様…
そんな
ぎゅっ…！
……『力』が
力が欲しいッ…！


……
お父様っ…！
ぎゅううっ
ラトゥミ…
どうも弱気になって
いかんな
体調はさほど
悪くないのだが
少し前からカナロアが
薬を持ってきてくれていてね
それが効いているのかも
しれないな



第5話 闇のはじまり




ラトゥミちゃん
元気ないね
どうしたんだろう
ラトゥミ へいき?
げんきない
あ…平気よ
ごめんなさい
ふぅ……
ラトゥミ
ちゃん
悩み事があるなら
ぼくたちに話してよ!
そうそう!
3人寄れば
文殊の知恵って
言うしね!
みんな…


怪力担当
ユルルングルも
いるもんね!
おで
ラトゥミ
まもる!!
ピク
ピク
あ…
ありがとう…


カッ
カッ
ドンドン!
陛下! バマパナです 扉をお開けください!!
無駄です どうやっても扉が開かないんです
いっそ壊そうとしてもびくともせず…
しかしこのままにしておくわけにはゆかぬだろう
昨日からずっと何も召し上がっておらんのだぞ


バマパナ
お父様に何かあったのですか!?
ダッ
先程からお呼びしてはいるのですが…
姫様
お父様は?
お父様
ラトゥミです 開けてください
お父様…


これはどういうことなのだ？
陛下にいったい何が？
私もよくは…
ただずっと寝室に籠もって
誰ともお会いに
なっていないとか
ばかな
食事も召し上がって
おらぬというのか
そのようです
姫様
何か心当たりは
ございませんか
いえ…
ただ少し前にお会いした時は
体調は悪くはないと

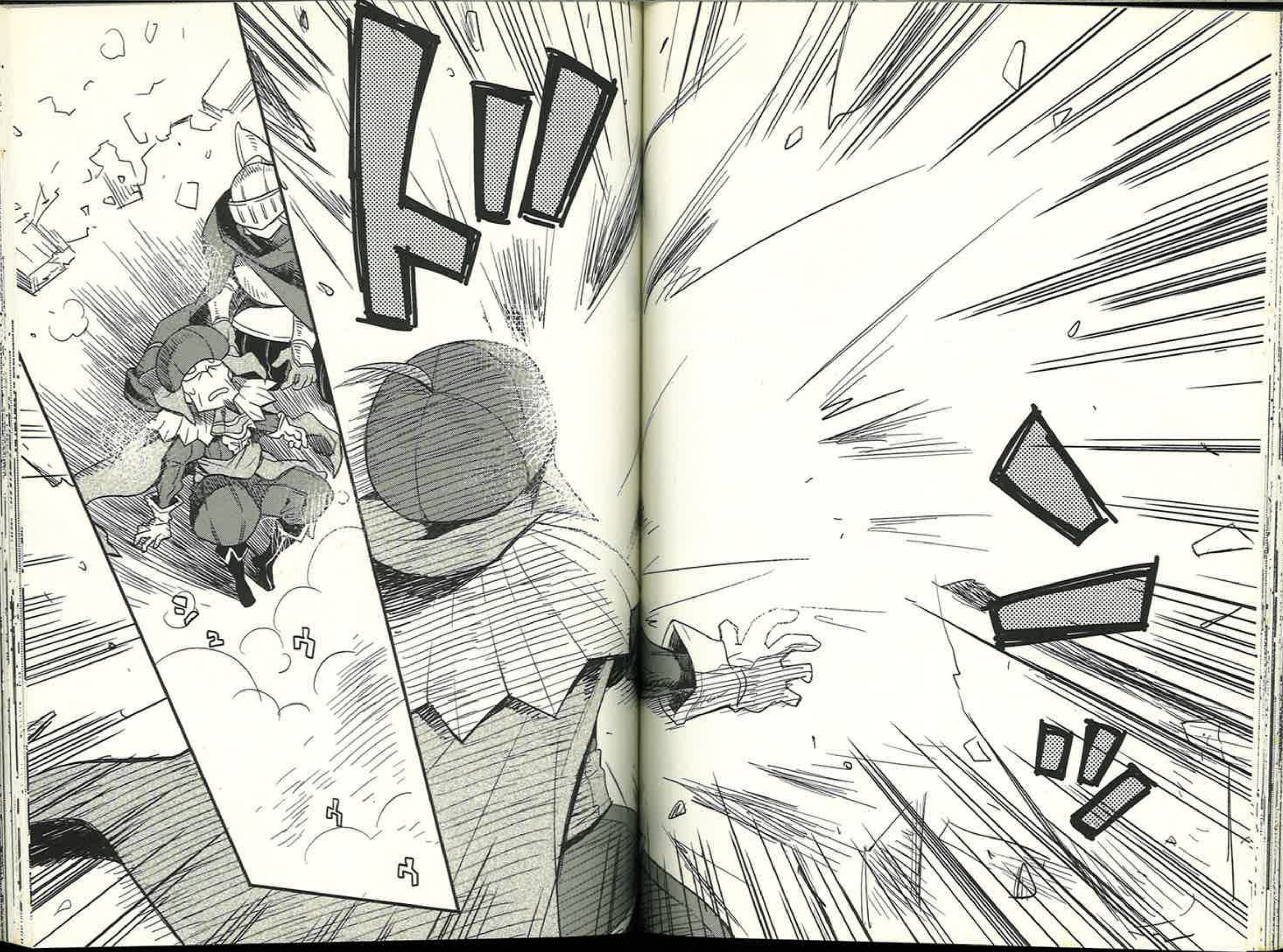

けれど…何かいつものお父様とは
雰囲気が違ったような気がして…
ずっとそれが
気になっていました
ふむ…
──そういえば
カナロア宰相から
薬をもらっていると
薬？


宰相は研究室に籠もって
学者たちと何かの研究を
しているようだが
王のために薬を
開発していたのか?
いや あれは機械の
研究だろう
何やら機械化に
ご執心のようだしな
……
本人に
聞くか
おや
お揃いで珍しい


私に何か
ご用ですかな
陛下にお渡ししていたという
薬について伺いたい
薬?
…ああ
ただの栄養剤ですが
それがどうか
しましたかな
父が昨日から誰とも
会っていないと…
何かご存知
ありませんか?
陛下が?
それは…
おかしいですな
ふむ…


わかりました
私が様子を見に
参りましょう
陛下も私ならば
お通しくださる
でしょうからな
失礼
まったく
いけすかん奴だ
どういうことだ?
薬に頼らないと
生きてゆけぬ程度の
投与量のはずだ

さすがに食事は摂らないと
体がもたぬはず
かといって衰弱しているとも
考えがたい
見張り
ご苦労
コツ
コツ
はっ…
陛下のご様子は?
はっ…相変わらず
コトリとも音がせず…
どうしておられるのか…
む?
ドロリ…
これは…


ド


な……


へ…陛下…?
カナロアか 素晴らしいな あの薬は
体の中心から力が漲ってくるようだ
闇の薬…
まさかあんな少量で…!?
薬はおまえの部下どもが大量によこしてくれたよ
なっ…あいつら勝手にッ…!
褒美を取らせねばならないな



ひぃっ
あ…
ダッ
貴様にも力を与えてやろう
ドロ…
あ…
ああ…
ボタ
ボタ
ニヤ…

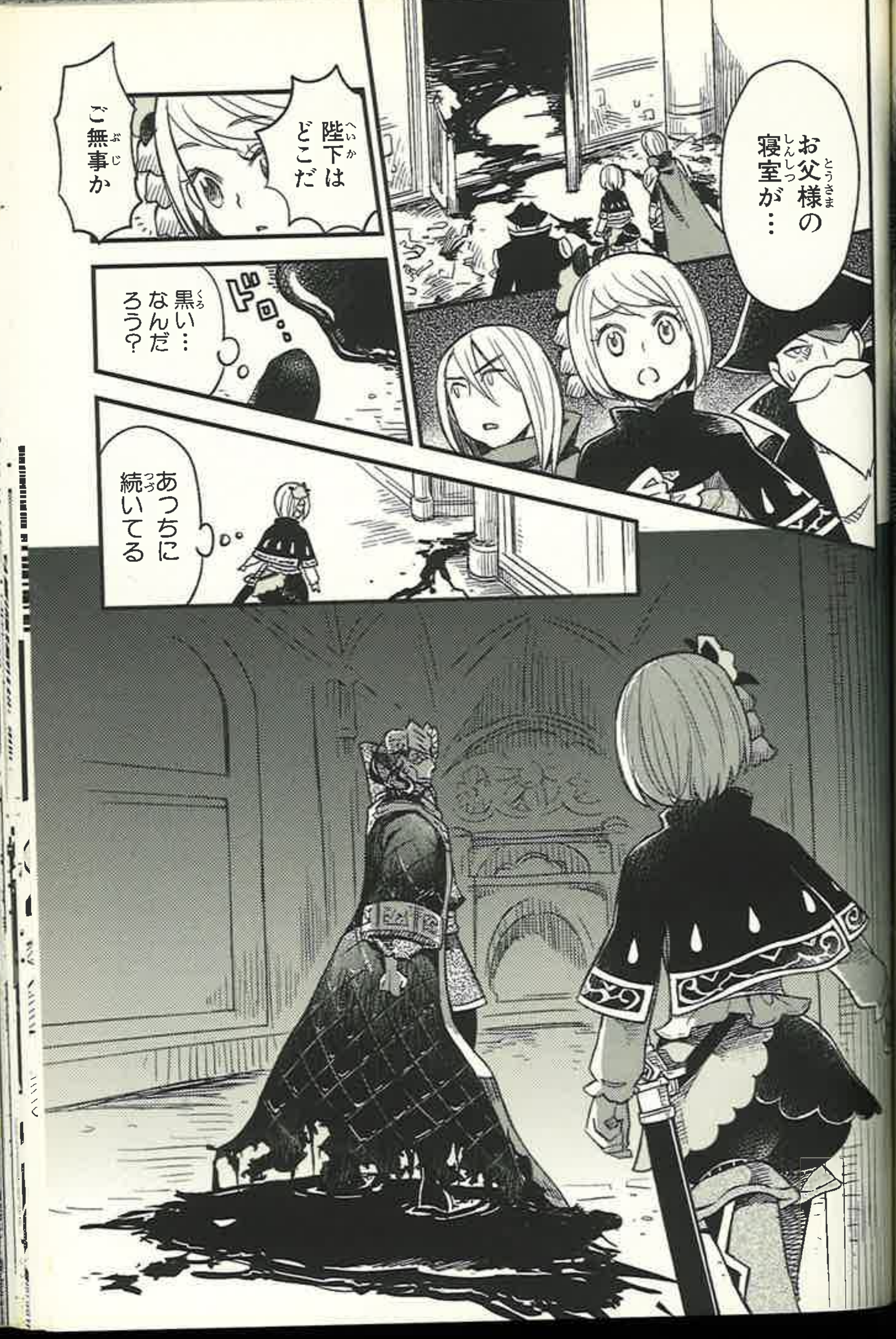


なんだ今の音は
陛下の寝室の辺りから聞こえたぞ
行きましょう！
姫様
念のため剣をお持ちください
いやな予感がする―
はい…

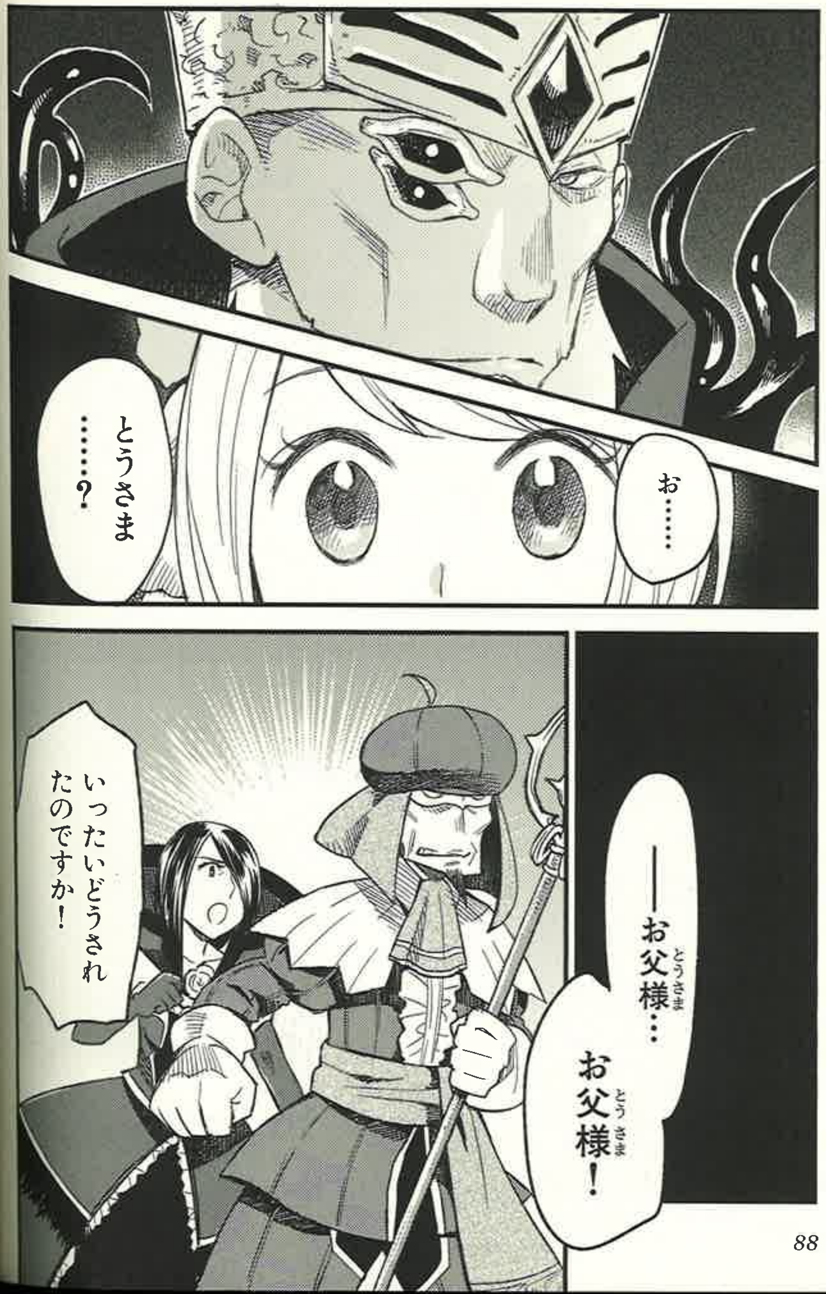
第6話 崩壊



あぁ…なんということだ
無能な学者どものせいで
私の計画が台無しではないか
いったいどれだけの年月を
要したと思っているのだ
はーはー
ガチャ…
カッ
カッ
苦労して娘のランダを妃にし
すべてはこれからだったというのに
こうなったら仕方がない
ガッ
王を倒し
私がこの国の
王となるッ…!!

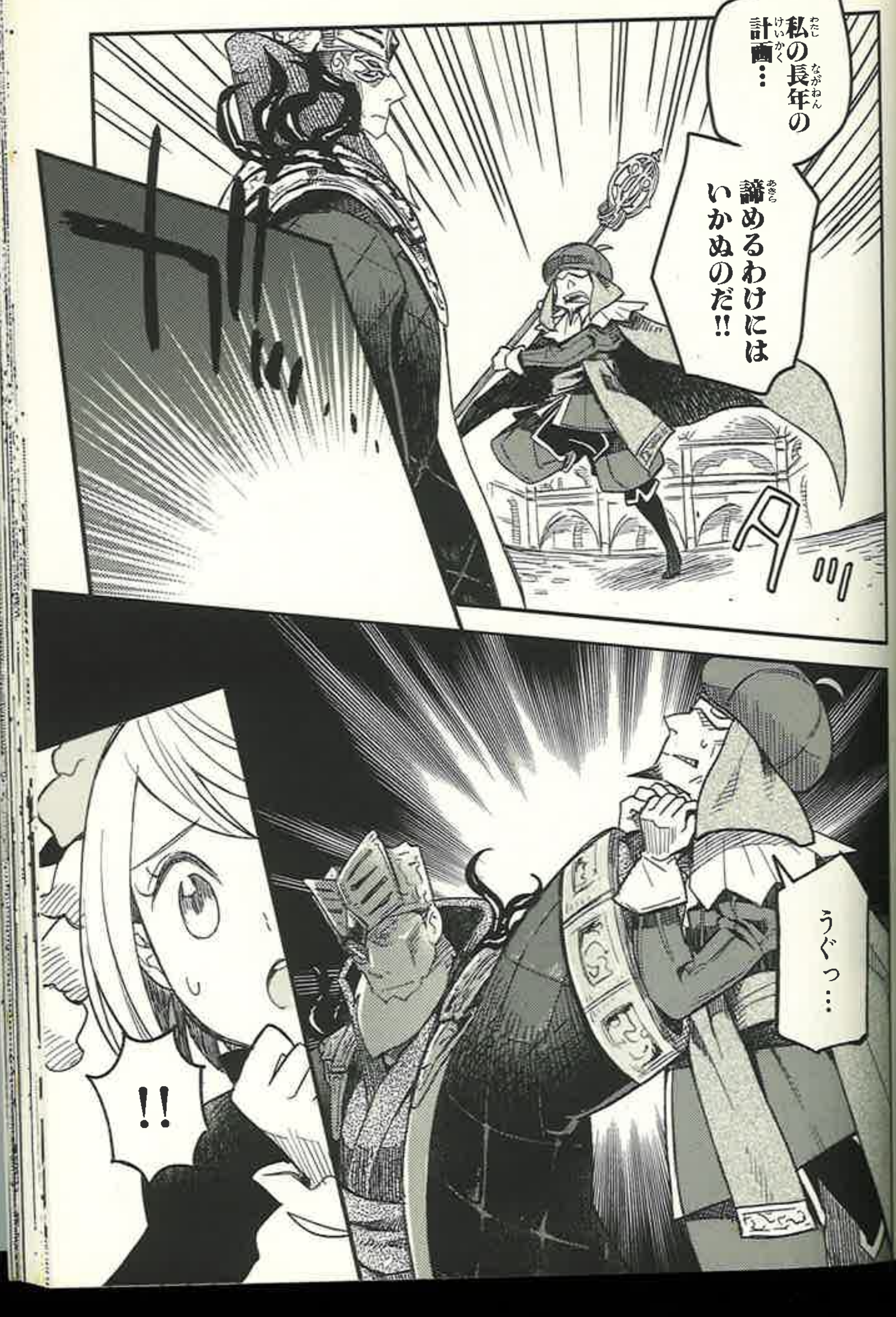


お父様の寝室が…
陛下はどこだ
ご無事か
ドロ…
黒い…なんだろう?
あっちに続いてる


お……
とうさま……？
——お父様…
お父様！
いったいどうされたのですか！


離せ ランダ
王が闇の力に支配された以上こうするしかないのだ
闇……？
こうするとは？
王を倒す!!
!?
おまえにはずっと苦労をかけた
王から寵愛を受けられず王女とは血縁もなく
さぞ寂しかったことであろう
王女の暗殺 王の弱体化
これらが失敗した今 直接 手を下すしか方法はない
で…でも…
だがそれも
今日で終わりだッ!!


姫様？
!!
へ…陛下？
そのお姿は…
どけっ!!
カナロア宰相…!?
見ていろ貴様ら
王を倒し私がこの国の王となるところを!!
えっ……!?
何を言っているのだ血迷ったか
血迷ってなどおらぬ!!


私の長年の計画…
諦めるわけにはいかぬのだ!!
うぐっ…
!!


ググ
ググ
馬鹿な男だ 欲に目がくらみ己の力量を見誤ったか
ぐっ…あがっ…
私が動けぬのをよいことに好き勝手していたようだが
今の私には力があるのだ
貴様も欲しいであろうこの絶対的な『力』――
守護神には感謝せねばな


守護神…？どうしてユルルングルが…？
何が起こっているの？
…オロファト殿 姫様を連れてお逃げください
えっ？
陛下のあのご様子尋常ではありません
ここは危険です
うむ…さあ姫様
バマパナは……
……姫様
私が贈ったその剣は
ひとつお願いがあります
どうかご自身を守ることにのみお使いください


あなたはなんとしても
生き残らなければ
ならない
よろしい
ですね
姫様
行きますぞ！
グイッ
いったい何が
起こっているの？
お父様はどうして
しまったの？
昨日までは皆いつも通りで
平和な日々を送って
いたのに——
オ…
オロファト
待って！
何？


逃げるって
どこに？
私の船
ルー・カイラン号です
海に出れば
安全でしょう
なら城のみんなや
ユルルングルたちも…
ザッ
ザッ
…姫様
あれを！
あ…あれは何？
わかりませぬ…
だがあの黒い
液体……


陛下の周りにも飛散しておりました
触れないほうがよろしいでしょうな
…オロファト
お父様たちは…
……覚悟しておいたほうがよいかもしれませぬ
覚悟…
とにかく姫様は安全なところへ…
!
キャァァァ
庭園のほうだわ！
タッ
姫様！行ってはなりません！
!!


大変！侍女たちが!!
姫様なりませぬ！
バマパナとの約束をお忘れですか
その剣は
ご自身を守ることにのみお使いください――
グッ…
でも……！


守護神よ
いるのであろう
我らに力を
貸してくれ
ガサ
ガサ…
ぬっ
おでよんだ？
ラトゥミ！ラトゥミもおひるねする？
ユルルングル！
ユルルングルあのね…
姫様っ!!


そんなところにおられては危険です!!
早くお逃げください
こっこっこんな化け物
私のハタキで…
ゴリ…
う……


ラトゥミ
あぶない!
姫様
後ろに!
ユルルン
グル!


おでラトゥミ
まもった!
ええ
ありがとう
がばっ
ひめさまあああ!!
無事で
よかったわ
はっ早く逃げましょう!
あの化け物
どんどん増えるんです
黒いどろどろ
したものを出して
それに触れると
化け物に…
私たちを
守ってくれた
兵士たちも…
増える?
じゃあさっきの
化け物も元は…
でっ…でも姫様の
おかげで私たちは
助かりましたから!


…ユルルングル
お願いがあるの
ん?
私と一緒に
戦ってほしいの
姫様
なにを…
城の皆を
船まで誘導するの
私が先頭に立つわ
姫様が戦うことは
なりませぬ!
この剣は自分だけじゃなく
大切な人々を守るために
振るいたいの
お願い!!


急いで
こっちよ!
第7話
別れ
ドンッ…
お城が…!


姫様…いったい何が起こっているんでしょう
どうして突然こんなことに…
コツ…
あ…あれは…闇の力です
闇…?
機械を動かすと黒い澱…闇が排出されるんです
その澱を精製して結晶化させると生命の源になる…
それを王に…まさかこんなことになるなんて…
お…おまえらが元凶かっ!!
おまえらのせいでみんなおかしく…!
やめなさい!
ゴホ…
お…恐れながら姫様
機械の動力源は守護神の力です


すなわち あの恐ろしい闇の力は守護神由来のもの
このまま行動を同じくするのは危険かと存じます
!?
おで なにも わるいことしない!
守護神には感謝せねばな――
それでお父様が…
おで わるいこと しない! しんじて ラトゥミ!
信じるわ ユルルングル!


さあ 行きましょう!
ザ…
ザ…
港はもうすぐだ 頑張れ
ザッ
ザッ
はいぃ…
ザ…
ザ…
ザッ…
!?

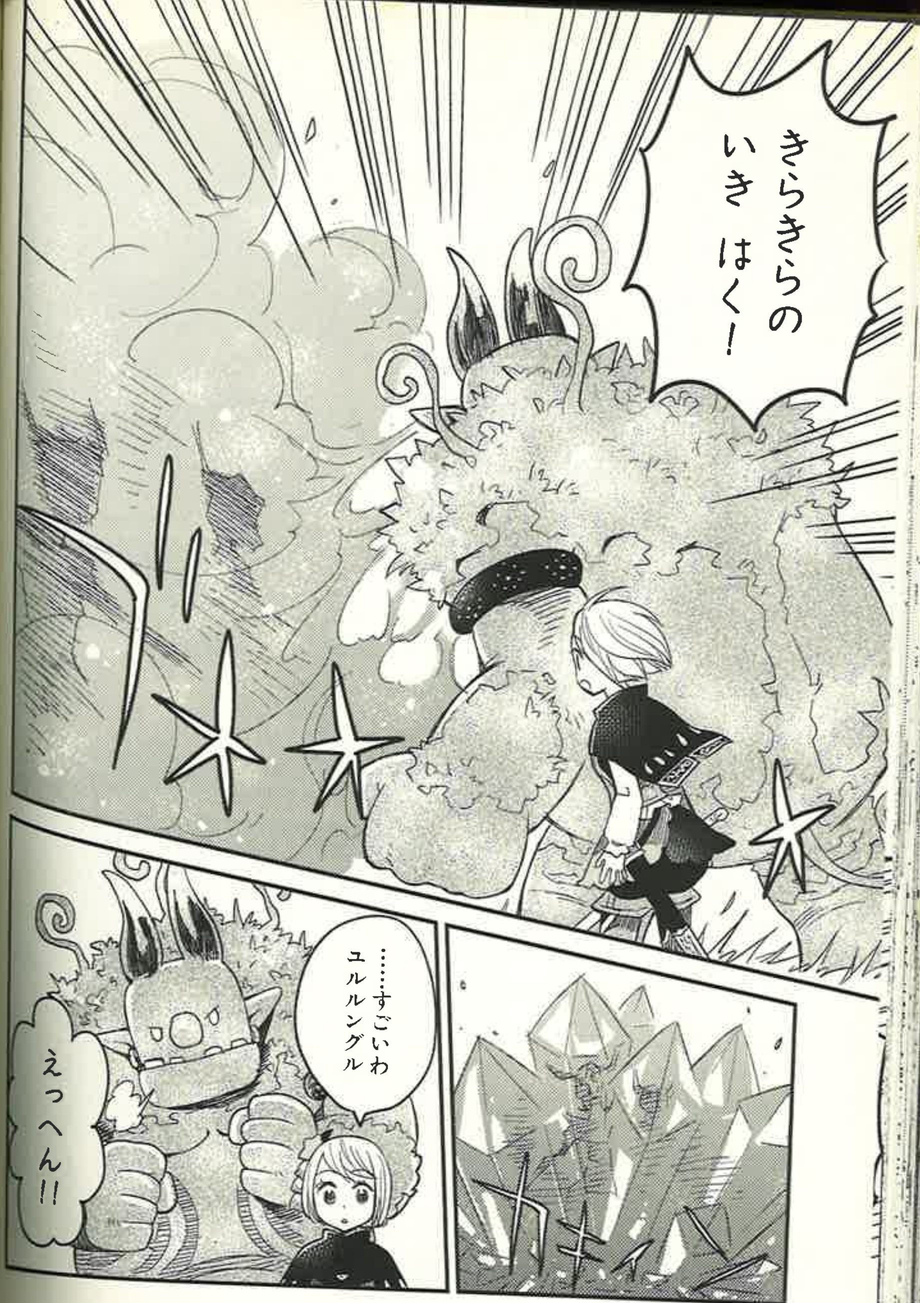

海が枯れてる…!?
オロファト…!
姫様 なんと…!?
これは……
なんということだ
これも『闇』の力だというのか…!?


ラトゥミ！
こっち！
ザワ
闇の兵士…
いつの間に…！
姫様
すぐそこに坑道があります
そこを通り
とにかく王国から脱出しましょう
坑道…
わかったわ
私とユルルングルで闇の兵を引きつけます
その間にオロファトは皆を連れて行って
姫様!?


大丈夫よ
ユルルングルはとっても強いの
すぐに追いかけるわ
姫様ああああ!!
ぶわ
まったく姫様は…
わかりました
『闇』は元は守護神の一部
だとすれば『闇』に打ち勝てるのも
また守護神なのかもしれぬな…
よし 皆
私について来い!!
おおっ…!
姫様 足止めを
頼みますぞ!!


ザッ
ザッ
オロファト 皆を
お願いね……
ヴッ…
行くわよ
ユルルングル!!
うん! おで
がんばる!!

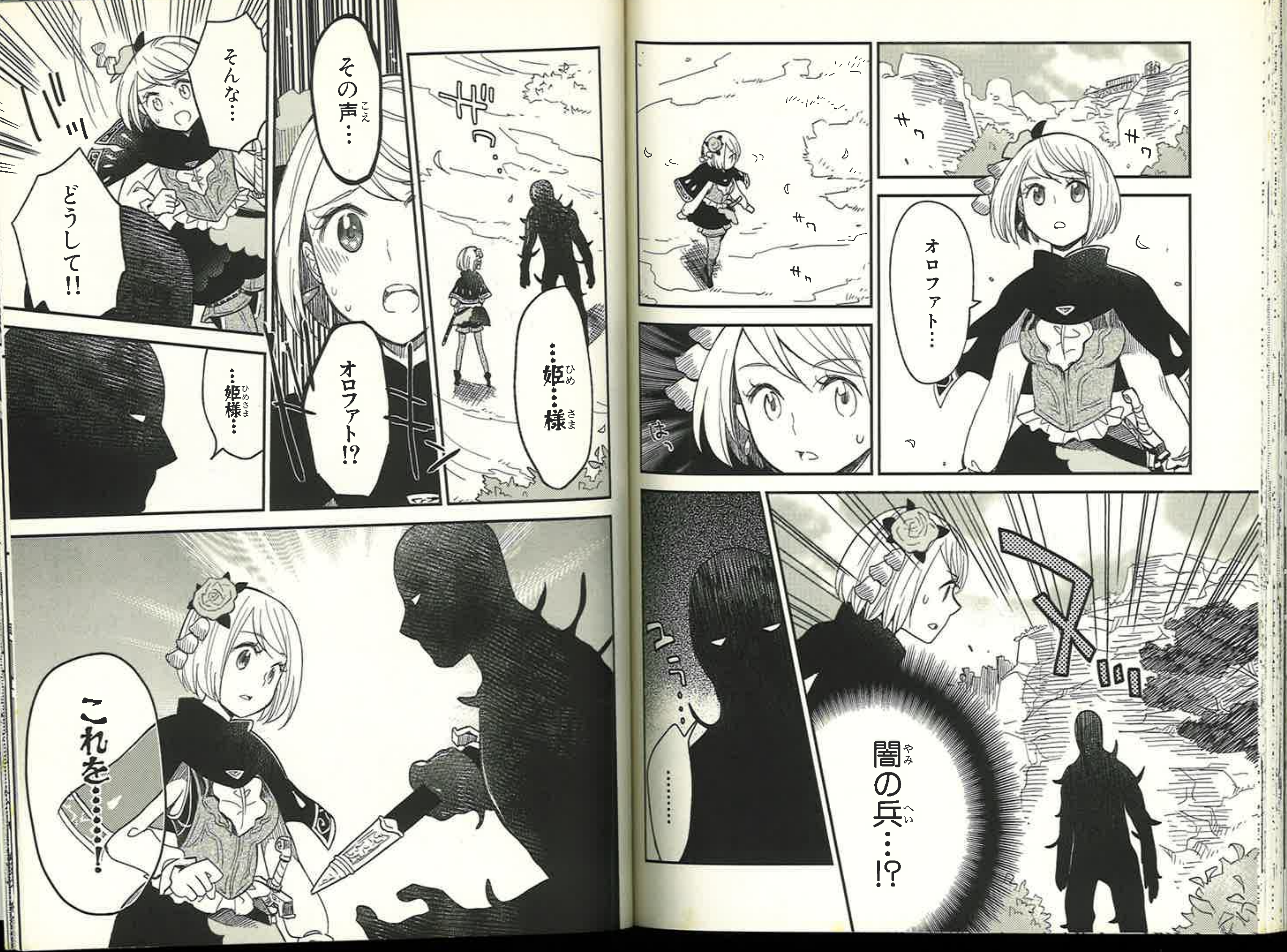

ズバッ
ベチャ
数が多いわ…
いっぺんに
たくさんたおす~
おでに
まかせて!
おで……
ザザッ


きらきらの
いき　はく！
……すごいわ
ユルルングル
えっへん!!


ユルルングルと
一緒なら
お父様たちを
救えるかも
しれない！
皆　入ったか
はい
あとは姫様を
待つのみです
オロファト様
あれは…！
まさか
姫様が…
いや　おそらく
ものすごい速さで
闇が広がって
いるのであろう


オロファト様
我らも戦います！
ならぬ！おまえたちは
剣持たぬ者を守れ
姫様がお戻りに
なるまでここは
私が食い止める
皆は少しでも早く
王国から脱するのだ
来るぞ早く
ゆけッ!!


ズヴァッ
ビチャッ
ヤミのけはい
もう ない
オロファトたちの元へ
急ぎましょう！
ビタ～ン
いたい
グス
ゆっくり
おいで


キワ
キワ
オロファト…
は、
ヌッ
ユラ…
………
闇の兵…!?
ザワ…
…姫…様
その声…
オロファト!?
そんな…
どうして!!
…姫様…
これを……!

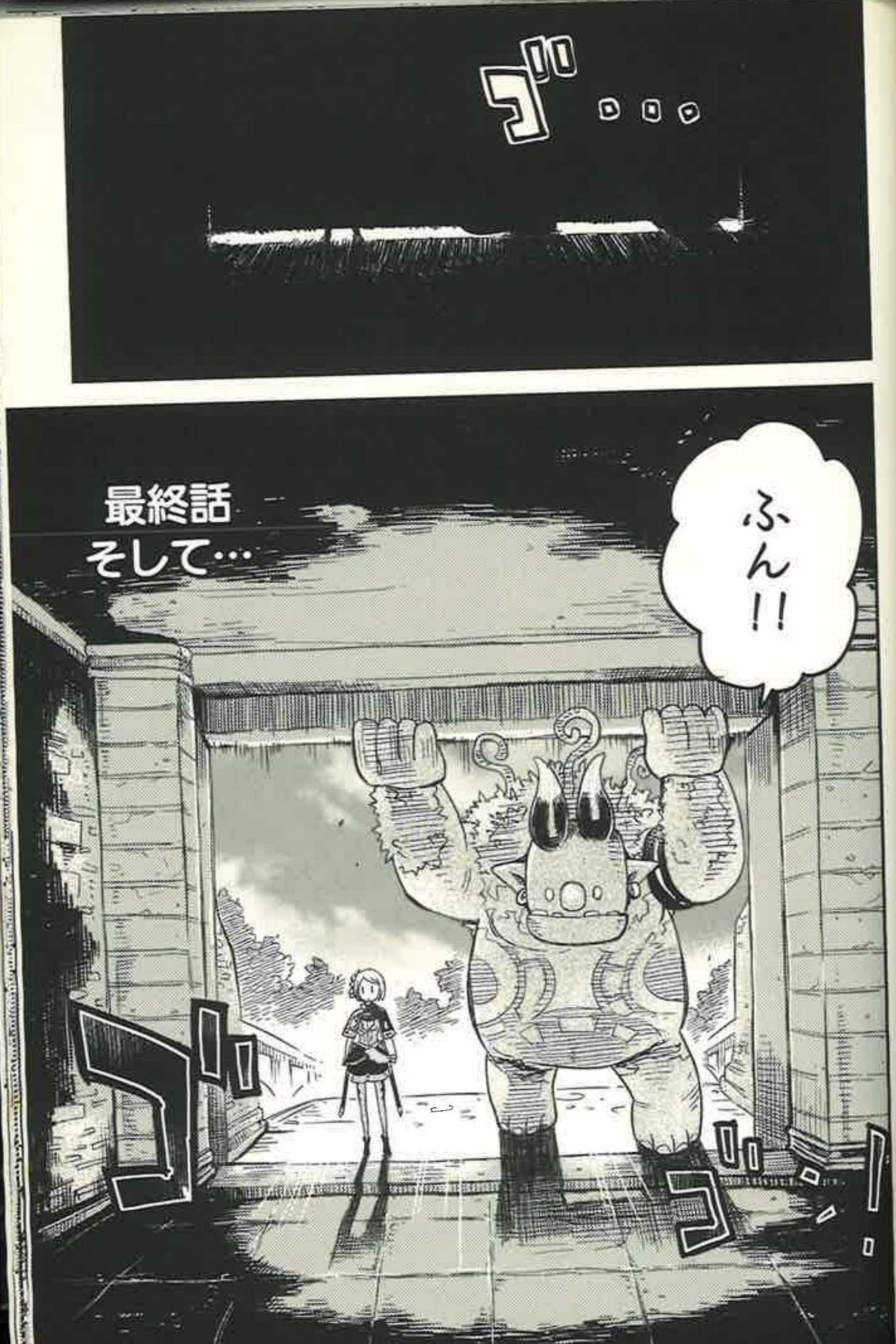

これはあなたの剣…だめよ！もうすぐユルルングルが来てくれるわ！
彼なら闇を祓うことができるのだから…！
姫様…闇の力は本当に恐ろしい 私の中の黒い部分を飲み込んで膨れてゆく
私が私としてお話できるのももうあとわずかでしょう
あなたはバマパナから受け継いだ剣を大切な者たちのために振るうと仰った
ならば
私のこの剣はラトゥミカイク様ご自身を守るためにお使いください
それが私からの最期のお願いでございます

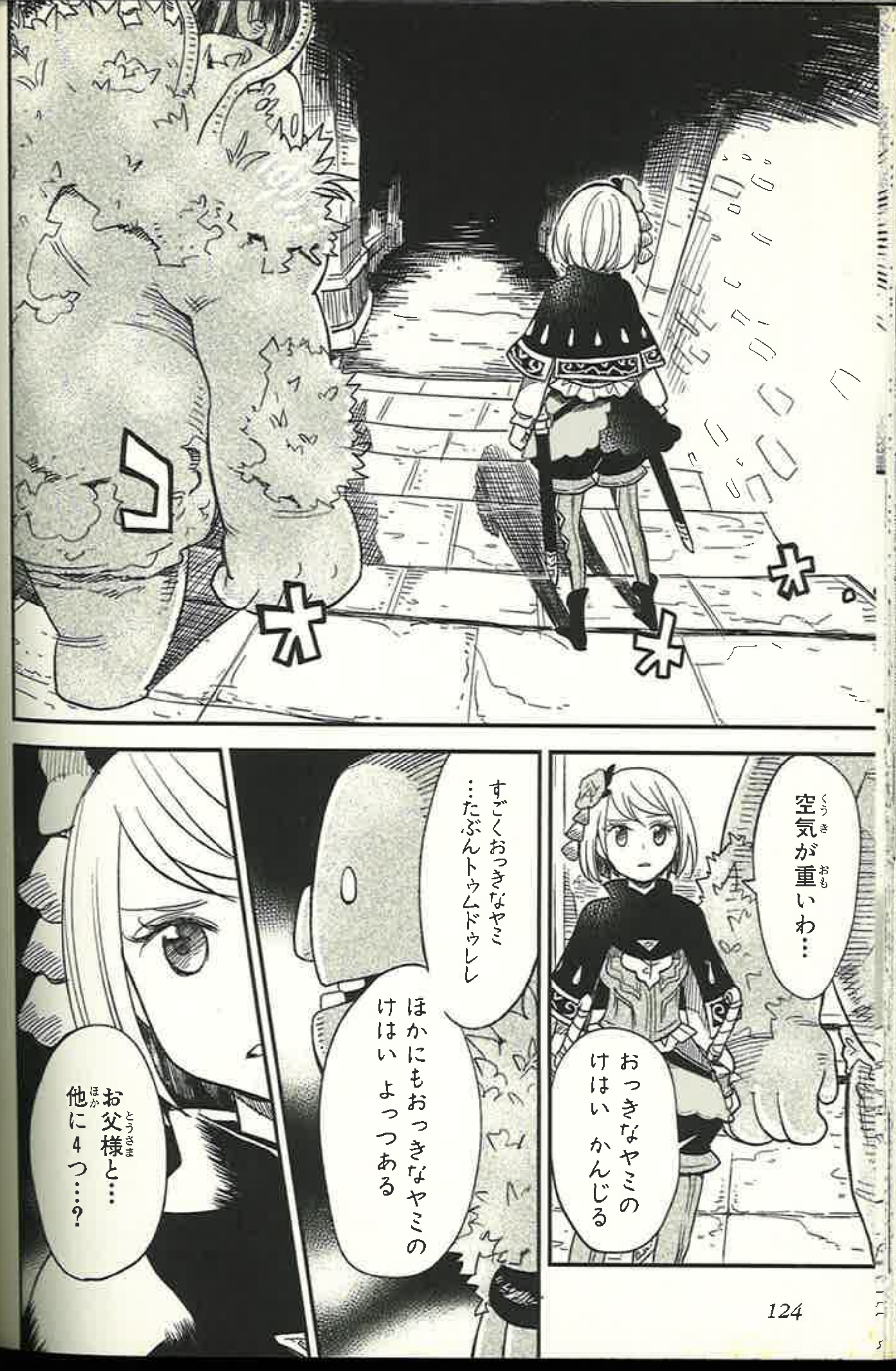

『最期』だなんて
…言わないで
姫様
ふ…
オロファトは姫様の前で無様な姿を晒したくはないのです
………
さあ姫様も坑道へお入りください
そして守護神の力で入口を封じるのです
……オロファト…


私は…
ラトゥミー!!
おまたせ
ドス ドス
ユルルングル…
オロファト…!
くるっ
ザワ…
ラトゥミ?
『最期』――
お父様
お母様
バマパナ
オロファト…
ユルルングル
もうみんなに会えないかもしれない!


どうして?
どうして突然こんなことに!?
ラ…ラトゥミだいじょうぶ?
どこかいたい?
ぐしっ
姫様!!
泣いていては美しいお顔が台無しですよ
闇は心の隙につけ入ってきます
お心を強くお持ちください
オロファト バマパナ…


私たちはずっと
あなたのそばで
あなたをお守りいたします――
ラトゥミ?
……
ユルルングル
お父様のところへ戻りましょう
この国の王女として
私は決着をつけなくてはならない
たとえどんな結末になろうとも――


最終話
そして…
ふん!!



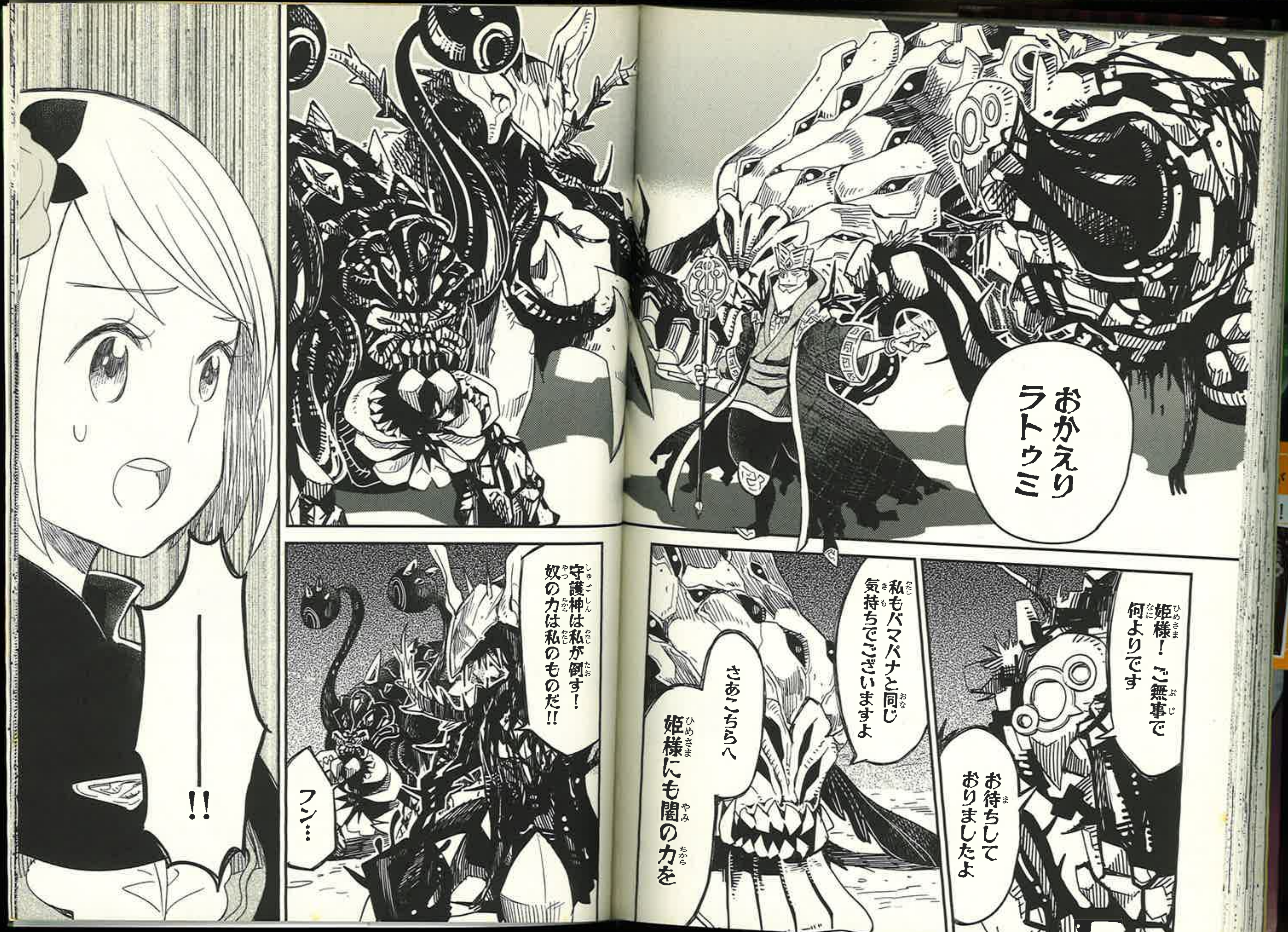
ゴ
オ
オ
オ
空気が重いわ…
おっきなヤミのけはい かんじる
すごくおっきなヤミ…たぶんトゥムドゥレレ
ほかにもおっきなヤミのけはい よっつある
お父様と…他に4つ…？



………
ラトゥミ？
…大丈夫
何があろうと私はお父様を止めなくちゃ
——ユルルングル
私と戦ってくれてありがとう
？
ユルルングルを利用してお父様は悪いことをしているわ
でも私はお父様を助けたいの
それにはあなたの助けが必要よ
…結局 私もあなたを利用しているのかもしれないわ


それ ちがう
ラトゥミ
え…？
ラトゥミは おでとトモダチ
トモダチのチカラ なりたい とうぜん
おで そうしたい
いっしょにたたかう
ラトゥミ
だいじょうぶ
うん…


ピクッ
来たな…
お父様…



おかえり
ラトゥミ
姫様！ご無事で何よりです
お待ちしておりましたよ
私もバマパナと同じ気持ちでございますよ
さあこちらへ
姫様にも闇の力を
守護神は私が倒す！奴の力は私のものだ!!
フン…
――!!


お父様…
なんてことを!!
どうしたというのだ? 皆 喜んでおるではないか
心配せずともよい さあ おいで
…困った子だ
少し痛い目にあわねば わからぬようだな
お父様…


陛下! 守護神の相手は ぜひ私めに
好きにせよ
ユルルングル…!
うん!
ゆくぞ 我が娘よ!!
お父様っ…!!


守護神よ
その力このカナロアがすべていただく！


守護神の力は私のものだ
よこせ！よこせ!!
ゴオ…


お父様！もう
こんなことはやめて！
バマパナたちも最初は
そう言っていたよ
でもごらん
今は力を手に入れた
喜びに満ちている
!!


!!
ユルルングルっ!!
どいてっ!!


観念しろラトゥミ
っ……!!
お願い…元のお父様に戻って…
私は何も変わってはいないよ
はぁっ…
その闇の力で…どれだけの人や動物が犠牲になったの…?
少し力をわけてもらっただけだ

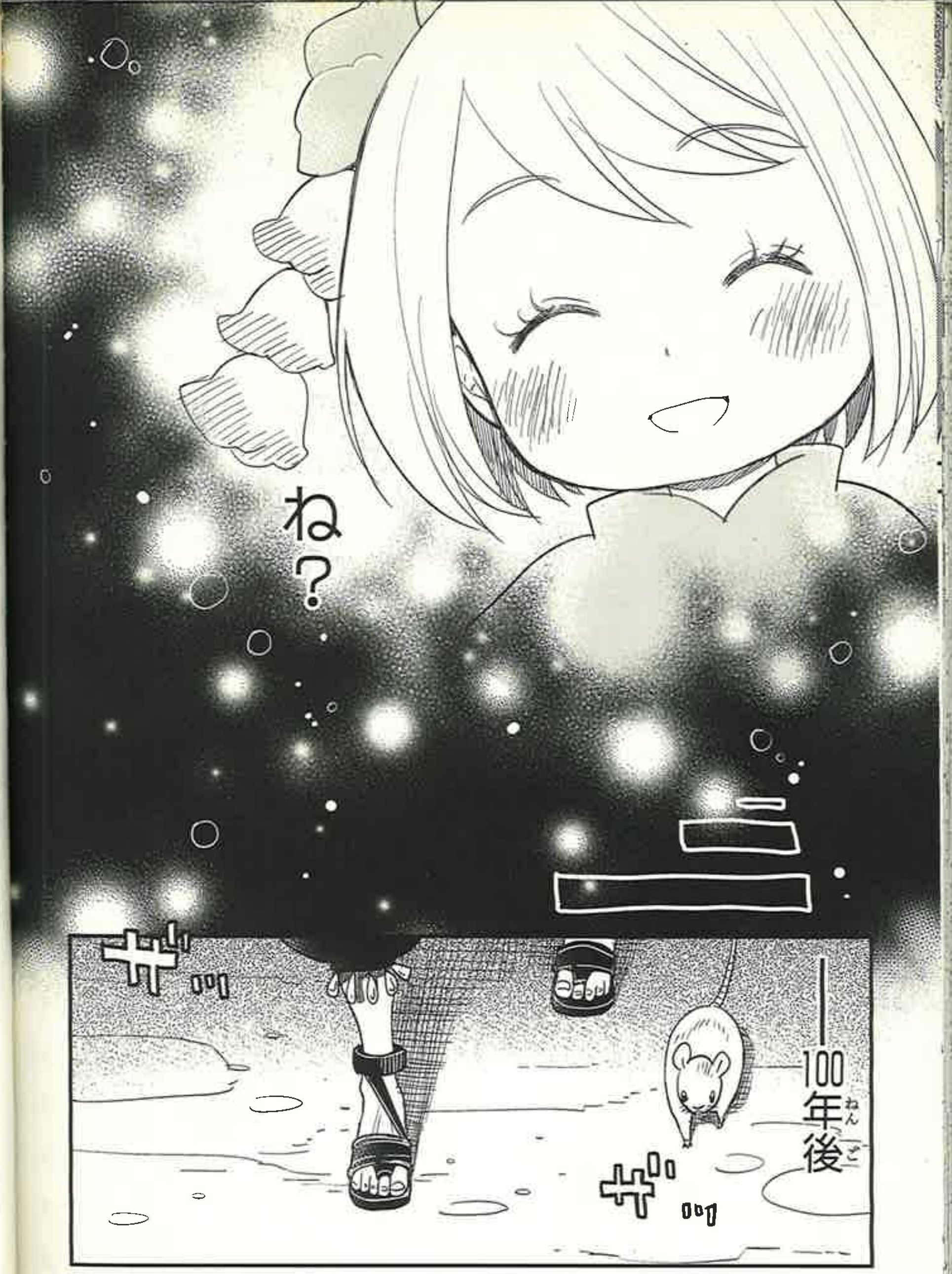

犠牲?
違うな より強く生まれ変わったのだ
さあ
おまえもこの力を手にすればわかるだろう
ラトゥミ だめ!!


守護神ッ…
ラトゥミ…おでの
きらきらのなか
あんぜん
だから…
ユルルングル!?
何を…
おねがい
やめて!!


ユルルングル――!!
クッ…
クククッ…!


そこまでしてラトゥミを守るとはな…
まあよい
…力を使い果たしたか殺さない程度に弱らせて閉じ込めておけ
守護神にはまだ役立ってもらわねばな


わたしたちともだちになりましょう!
……ともだち?
だから もう
さみしくないわ


ね？
ニ
ザッ
ザッ
――100年後


見えたぞ！あれがアルケラ城の入口だ
気を引き締めて行けよ
ああ



お読みくださりありがとうございました。
多方面にご迷惑をおかけし、またお力添えいただき、
こうして1冊の本にまとめていただけました。
少しでも楽しんでいただけたらうれしいです。

2011.08　うず拝

Special Thanks to...

-シナリオ監修-
醤野貴至さん
簗瀬洋平さん

他、武器の3Dモデルを作ってくれたがりょくん、担当編集さま。
ありがとうございました!!



DENGEKI COMICS

魔人と失われた王国
むかしむかしの物語

2011年9月27日 初版発行

原作 ——— バンダイナムコゲームス
作画 ——— うず

発行者 ——— 髙野 潔
発行所 ——— 株式会社アスキー・メディアワークス
〒102-8584 東京都千代田区富士見 1-8-19
電話 03-5216-8230（編集）
発売元 ——— 株式会社角川グループパブリッシング
〒102-8177 東京都千代田区富士見 2-13-3
電話 03-3238-8605（営業）
カバー・本文デザイン — WANNABIES
装丁 ——— 朝倉哲也（designCREST）
印刷・製本 ——— 図書印刷株式会社

ISBN978-4-04-870867-8 C9979
小社ホームページ http://asciimw.jp/

初出 Side-BN 2011 年 2 月号～ 5 月号
Side-BN コミックWeb 5 話～ 8 話



失われた王国を旅する
ファンタジーアクションが
コミックで登場！

栄華を極めた王国が、
一夜にして歴史から消え失せた…。
ゲームで綴られる物語の
はるか昔に何が起こったのか？
その謎がコミックで解き明かされる。

物語。悲しい優しくて魔人と少女の

DC
魔人と失われた王国　むかしむかしの物語
作画／うず
原作／バンダイナムコゲームス
C305-1
電撃コミックス




ラトゥミカイク
ファレ・アトゥアの王女。
動物と話をすることができる。



ユルルングル
いつもハラペコで
マイペースな王国の守護神。

『魔人と失われた王国』好評発売中
《PS3》

《Xbox 360》

価格：7,329円
ジャンル：ファンタジー・ギミックアクション
発売元：バンダイナムコゲームス
http://majin.channel.or.jp/

9784048708678
1929979005702
ISBN978-4-04-870867-8
C9979 ¥570E
ASCII MEDIA WORKS
発行●アスキー・メディアワークス
定価：本体570円 ※消費税が別に加算されます
雑誌 49063-81